

教職科目

目次

教職概論(前期),(後期)	1	音楽科教育法Ⅱ(前期),(後期).....	49
教育原論(前期),(後期)	6	音楽科教育法Ⅲ(前期),(後期).....	55
教育課程の意義と編成(前期),(後期).....	14	音楽科教育法Ⅳ(前期),(後期).....	64
ICT 活用による教育の方法・技術(前期),(後期)	19	生徒指導・進路指導(前期),(後期)	69
教育と法(前期),(後期).....	23	特別支援教育(集中)	75
発達心理学(集中)	28	総合的な学習の時間の指導法(集中).....	78
道徳理論と指導法(集中).....	31	教育実習	80
特別活動の指導法(集中).....	35	介護実習	83
教育相談(前期),(後期)	39	教職実践演習(中・高)a～d(後期).....	86
音楽科教育法Ⅰ(前期),(後期)	44		

教職概論(前期),(後期)					
担当教員 杵鞭 広美 教授			曜日時限		木 1 時限
実施キャンパス 仙川	単位	各 2 単位		対象年次	学部 1 年

【授業の概要】

現代社会における学校教師という職業の特性と社会的役割について理解を深める。

わが国の教員養成制度、教員免許(資格認定)制度、教員の役割と職務内容についての基本的事項を理解する。

進路選択に資する情報を提供し、教職という職業への具体的なイメージと関心を高めることを目的とする。

【到達目標】

1 学校教師という職業の特徴と社会的役割を理解できるようになる。

①公教育の目的、教員の存在意義、教職の職業的特徴、教員に求められる役割、職務、服務上・身分上の義務を理解できるようになる。

②校内の教職員と効果的に連携し、組織的に諸課題に対応する重要性を理解する。教師として生涯学び続ける必要性を理解できるようになる。

2 教職に対する具体的なイメージをもつことができ、自身の適性を判断できるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

教職課程 履修者

1年以上(必修)

【授業の形式】

主に講義形式であるが、テーマに応じてディスカッションを行い、学校教師という職業へのイメージを高めていく。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	80%	20%

【成績評価の要点②】

成績評価は、主に、課題の提出状況と内容から総合的に判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

授業内でフィードバックを行う。

最終課題の解説については、Classroom に講評を掲載する。

【授業展開と内容-前期】

1.ガイダンス

授業の概要と進め方、評価方法についての説明

教職の意義、なぜ教職を目指すのかを考える

事前学習	シラバスを一読し、この授業へのイメージをつかむ。	時間	30 分
事後学習	オリエンテーションにおいて、説明を受けた内容を整理し、疑問点を明らかにしておく。	時間	60 分

2.学校教育における機能、学校教育制度、教員養成制度

わが国の教育に関する歴史的変遷の概説をととして、今日の教育的制度を理解する

事前学習	オリエンテーション時の資料等を確認し、補足の説明が必要な点を整理しておく。	時間	30 分
事後学習	学校教育制度、教員養成制度について、要点を整理しておく。	時間	60 分

3.学校の組織と運営

学校を運営するうえでの組織、教員構成とそれぞれの社会的役割について理解する

事前学習	出身の小、中、高等学校の公式ホームページにアクセスして、学校の特徴をつかんでおく。	時間	30 分
事後学習	学校を構成する教員の役割について、要点を整理しておく。	時間	60 分

4.公教育の目的、学校教育制度

公教育の目的と学校教育の制度について理解する

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	「公教育」について、要点を整理しておく。	時間	60 分

5.教員の職務内容、服務

学校教師の具体的な職務の概略を知り、社会的役割を理解する

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	教員の職務内容について、要点を整理しておく。	時間	60 分

6.学習指導要領

中学校、高等学校の学習指導要領の変遷をととして、教科指導のありかたを理解する

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	「学習指導要領」の要点を整理しておく。	時間	60 分

7.チーム学校運営への対応

チーム学校運営を推進するための施策について理解する

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	グループディスカッションをした内容と要点を整理しておく。	時間	60 分

8.授業づくり

円滑な授業を展開するために教師と生徒がどのようにかわればよいかを考える

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	グループディスカッションをした内容と要点を整理しておく。	時間	60 分

9.子ども(生徒)理解

学級における集団づくりの重要性を理解し、いじめ問題への対応について擬似事例から考察する

児童生徒の権利保護および安全確保のための服務規律について理解する

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	グループディスカッションをした内容と要点を整理しておく。	時間	60 分

10.特別支援教育(特別支援学校、特別支援学級、通常の学級)

多様なニーズをもつ生徒への対応のありかたを擬似事例から考察する

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	グループディスカッションをした内容と要点を整理しておく。	時間	60 分

11.多文化理解

海外にルーツのある家庭など多様なニーズをもつ生徒への対応のありかたを擬似事例から考察する

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	グループディスカッションをした内容と要点を整理しておく。	時間	60 分

12.学校評価制度、教員評価

学校評価の制度および教員の評価制度について理解する

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	「学校評価」について、要点を整理しておく。	時間	60 分

13.多様な教師観・教育観、研修制度

多くの教師観や教育観が存在する中で教員の専門性とはなにかを考える

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	「教員の研修制度」について、要点を整理しておく。	時間	60 分

14.新しい時代における教育的課題と教師の役割 1

今日の教育的課題に対応するための教員研修制度、教師のメンタルヘルスについて理解する

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	グループディスカッションをした内容と要点を整理しておく。	時間	60 分

15.新しい時代における教育的課題と教師の役割 2

音楽科の教師として、学校教育現場で果たすべき役割について考える

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	これまでの授業内容を振り返り、配布資料をみながら、要点を整理する。	時間	60 分

【授業展開と内容-後期】

1.授業の概要と進め方、評価方法についての説明

教職の意義、なぜ教職を目指すのかを考える

事前学習	シラバスを一読し、この授業へのイメージをつかむ。	時間	30 分
事後学習	オリエンテーションにおいて、説明を受けた内容を整理し、疑問点を明らかにしておく。	時間	60 分

2.学校教育における機能、学校教育制度、教員養成制度

わが国の教育に関する歴史的変遷の概説をととして、今日の教育的制度を理解する

事前学習	オリエンテーション時の資料等を確認し、補足の説明が必要な点を整理しておく。	時間	30 分
事後学習	学校教育制度、教員養成制度について、要点を整理しておく。	時間	60 分

3.学校の組織と運営

学校を運営するうえでの組織、教員構成とそれぞれの社会的役割について理解する

事前学習	出身の小、中、高等学校の公式ホームページにアクセスして、学校の特徴をつかんでおく。	時間	30 分
事後学習	学校を構成する教員の役割について、要点を整理しておく。	時間	60 分

4.公教育の目的、学校教育制度

公教育の目的と学校教育の制度について理解する

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	「公教育」について、要点を整理しておく	時間	60 分

5.教員の職務内容、服務

学校教師の具体的な職務の概略を知り、社会的役割を理解する

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	教員の職務内容について、要点を整理しておく。	時間	60 分

6.学習指導要領

中学校、高等学校の学習指導要領の変遷をととして、教科指導のありかたを理解する

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	「学習指導要領」の要点を整理しておく。	時間	60 分

7.チーム学校運営への対応

チーム学校運営を推進するための施策について理解する

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
------	--------------	----	------

事後学習	グループディスカッションをした内容と要点を整理しておく。	時間	60 分
------	------------------------------	----	------

8.授業づくり

円滑な授業を展開するために教師と生徒がどのようにかわればよいかを考える

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	グループディスカッションをした内容と要点を整理しておく。	時間	60 分

9.子ども(生徒)理解

学級における集団づくりの重要性を理解し、いじめ問題への対応について擬似事例から考察する

児童生徒の権利保護および安全確保のための服務規律について理解する

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	グループディスカッションをした内容と要点を整理しておく。	時間	60 分

10.特別支援教育(特別支援学校、特別支援学級、通常の学級)

多様なニーズをもつ生徒への対応のありかたを擬似事例から考察する

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	グループディスカッションをした内容と要点を整理しておく。	時間	60 分

11.多文化理解

海外にルーツのある家庭など多様なニーズをもつ生徒への対応のありかたを擬似事例から考察する

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	グループディスカッションをした内容と要点を整理しておく。	時間	60 分

12.学校評価制度、教員評価

学校評価の制度および教員の評価制度について理解する

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	「学校評価」について、要点を整理しておく。	時間	60 分

13.多様な教師観・教育観、研修制度

多くの教師観や教育観が存在する中で教員の専門性とはなにかを考える

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	「教員の研修制度」について、要点を整理しておく。	時間	60 分

14.新しい時代における教育的課題と教師の役割 1

今日の教育的課題に対応するための教員研修制度、教師のメンタルヘルスについて理解する

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	グループディスカッションをした内容と要点を整理しておく。	時間	60 分

15.新しい時代における教育的課題と教師の役割 2

音楽科の教師として、学校教育現場で果たすべき役割について考える

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	これまでの授業内容を振り返り、配布資料をみながら、要点を整理する。	時間	60 分

【オフィスアワー】

授業終了後 仙川キャンパス 第二教員室

【テキスト】

1.教職論ハンドブック 改訂版 山口健二・高瀬淳・今井康好・森安史彦 編著 2020 年 ¥2,640 978-4-623-08981-9

【教材】

文部科学省『高等学校学習指導要領(平成 30 年)平成 30 年 3 月告示』 2019

文部科学省『中学校学習指導要領(平成 29 年)平成 29 年 3 月告示』 2018

その他は、適宜、授業内にて紹介する。

【その他】

Google classroom への登録をしてください。

教育原論(前期),(後期)					
担当教員	宮城 哲 講師		曜日時限	木 1 時限	
実施キャンパス	仙川	単位	各 2 単位	対象年次	学部 1 年

【授業の概要】

この授業では、教育と教育学の理念並びに歴史及び思想についての基本的概念・基礎的知識の修得を目的とする。受講生には、教育学との出会いによって、これまでの自分の受けてきた「教育」をとらえなおすことを期待する。「教える」、「学ぶ」とはどのようなことなのか、また、学ぶ(教えられる)者から教える(学ばせる)者になるとはどういうことなのかについて考えていく。

【到達目標】

教育及び教育学についての基本的概念・基礎的知識の修得できるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

教職課程履修者 大学1年

【授業の形式】

基本的には講義形式で行う。毎回授業内で、その日の内容に関連した課題を出す。受講生は、毎回小さな考察をまとめ、提出することが求められる。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
35%	35%	30%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業授業時にフィードバックする。

学年末試験／学年末レポートについては Classroom に講評を掲載する。

【授業展開と内容-前期】

1.この授業の概要 / 教育、教育学とはなにか

1. 講義

2. 課題

事前学習	「教育」、「教える」、「学ぶ」、「先生」、「学校」、「友だち」等の言葉について事前に簡単に考えてくる。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

2.教育の理念、思想と歴史(1) 野生児の事例から

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 講義

3. 課題

事前学習	前回の講義の最後に指定されたテーマについて考え、要点や疑問点をまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

3.教育の理念、思想と歴史(2) 野生児の事例から近代教育の理念へ

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 講義

3. 課題

事前学習	前回の講義の最後に指定されたテーマについて考え、要点や疑問点をまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

4.教育の理念、思想と歴史(3) 近代教育の理念から近代学校の誕生

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 講義

3. 課題

事前学習	前回の講義の最後に指定されたテーマについて考え、要点や疑問点をまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

5.教育の理念、思想と歴史(4) 近代学校の成立から普及・拡大へ①:西洋

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 講義

3. 課題

事前学習	前回の講義の最後に指定されたテーマについて考え、要点や疑問点をまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

6.教育の理念、思想と歴史(5) 近代学校の成立から普及・拡大へ②:日本(明治～大正)

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 講義

3. 課題

事前学習	前回の講義の最後に指定されたテーマについて考え、要点や疑問点をまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

7.教育の理念、思想と歴史(6) 近代学校の成立から普及・拡大へ③:日本(大正～昭和)

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 講義

3. 課題

事前学習	前回の講義の最後に指定されたテーマについて考え、要点や疑問点をまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

8.現代の教育とその課題(1) 総論

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 講義

3. 課題

事前学習	前回の講義の最後に指定されたテーマについて考え、要点や疑問点をまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

9.現代の教育とその課題(2) 不登校

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 講義

3. 課題

事前学習	前回の講義の最後に指定されたテーマについて考え、要点や疑問点をまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

10.現代の教育とその課題(3) いじめ

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 講義

3. 課題

事前学習	前回の講義の最後に指定されたテーマについて考え、要点や疑問点をまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

11.現代の教育とその課題(4) 体罰

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 講義

3. 課題

事前学習	前回の講義の最後に指定されたテーマについて考え、要点や疑問点をまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

12.現代の教育とその課題(5) 学力

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 講義

3. 課題

事前学習	前回の講義の最後に指定されたテーマについて考え、要点や疑問点をまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

13.現代の教育をめぐる課題(6) 共生(シティズンシップ教育)

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 講義

3. 課題

事前学習	前回の講義の最後に指定されたテーマについて考え、要点や疑問点をまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

14.今後の課題と発展的学習

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 講義

3. 課題

事前学習	前回の講義の最後に指定されたテーマについて考え、要点や疑問点をまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

15.到達度の確認と授業の総括

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 課題

事前学習	これまでの講義について振り返り、到達度の確認に対して準備する。	時間	45 分
事後学習	これまでの講義について振り返り、学年末レポートの準備をする。	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.この授業の概要 / 教育、教育学とはなにか

1. 講義

2. 課題

事前学習	「教育」、「教える」、「学ぶ」、「先生」、「学校」、「友だち」等の言葉について事前に簡単に考えてくる。	時間	45 分
------	---	----	------

事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分
------	--	----	------

2.教育の理念、思想と歴史(1) 野生児の事例から

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 講義

3. 課題

事前学習	前回の講義の最後に指定されたテーマについて考え、要点や疑問点をまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

3.教育の理念、思想と歴史(2) 野生児の事例から近代教育の理念へ

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 講義

3. 課題

事前学習	前回の講義の最後に指定されたテーマについて考え、要点や疑問点をまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

4.教育の理念、思想と歴史(3) 近代教育の理念から近代学校の誕生

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 講義

3. 課題

事前学習	前回の講義の最後に指定されたテーマについて考え、要点や疑問点をまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

5.教育の理念、思想と歴史(4) 近代学校の成立から普及・拡大へ①:西洋

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 講義

3. 課題

事前学習	前回の講義の最後に指定されたテーマについて考え、要点や疑問点をまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。	時間	45 分

	授業で学んだことを振り返る。		
--	----------------	--	--

6.教育の理念、思想と歴史(5) 近代学校の成立から普及・拡大へ②:日本(明治～大正)

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 講義

3. 課題

事前学習	前回の講義の最後に指定されたテーマについて考え、要点や疑問点をまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

7.教育の理念、思想と歴史(6) 近代学校の成立から普及・拡大へ③:日本(大正～昭和)

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 講義

3. 課題

事前学習	前回の講義の最後に指定されたテーマについて考え、要点や疑問点をまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

8.現代の教育とその課題(1) 総論

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 講義

3. 課題

事前学習	前回の講義の最後に指定されたテーマについて考え、要点や疑問点をまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

9.現代の教育とその課題(2) 不登校

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 講義

3. 課題

事前学習	前回の講義の最後に指定されたテーマについて考え、要点や疑問点をまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

10.現代の教育とその課題(3) いじめ

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 講義

3. 課題

事前学習	前回の講義の最後に指定されたテーマについて考え、要点や疑問点をまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

11.現代の教育とその課題(4) 体罰

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 講義

3. 課題

事前学習	前回の講義の最後に指定されたテーマについて考え、要点や疑問点をまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

12.現代の教育とその課題(5) 学力

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 講義

3. 課題

事前学習	前回の講義の最後に指定されたテーマについて考え、要点や疑問点をまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

13.現代の教育をめぐる課題(6) 共生(シティズンシップ教育)

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 講義

3. 課題

事前学習	前回の講義の最後に指定されたテーマについて考え、要点や疑問点をまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

14.今後の課題と発展的学習

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 講義

3. 課題

事前学習	前回の講義の最後に指定されたテーマについて考え、要点や疑問点をまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

15. 学習到達度の確認と授業の総括

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 課題

事前学習	これまでの講義について振り返り、到達度の確認に対して準備する。	時間	45 分
事後学習	これまでの講義について振り返り、学年末レポートの準備をする。	時間	45 分

【オフィスアワー】

授業前・後30分程度(ただし、必ず、事前に教務などに連絡しアポイントメントを取ること)。

【教材】

特定のテキスト(教科書)を用いず、毎回レジュメや資料を配布する。参考書等は授業のなかで提示する。

教育課程の意義と編成(前期),(後期)					
担当教員 狩野 浩二 講師			曜日時限		水 2 時限
実施キャンパス 仙川	単位	各 2 単位		対象年次	学部 1 年

【授業の概要】

・各教科目や領域における教育活動に関する歴史的展開、及び現行学習指導要領の構成原理等を理解し、特に中学校・高等学校における学級担任、教科担任等としての教員の役割や同僚との協力、学校における教職員の協働、地域社会や保護者、関係諸機関との連携に関する事例を学び、自らが主体的に学校における教育活動の計画立案、実行、総括と省察、計画の見直しに関する知識や技能を身に付けられるよう講座を展開する。

・教育課程の規準を示している学習指導要領に関して、その編成原理、歴史的展開、教科用図書編纂との関わり等を紹介し、その内容や目標等を実現するための実際的な教育活動の展開事例を複数示し、その実際事例と学習指導要領との関係を考えることができるように指導する。

・学習指導や生徒(生活)指導という二大機能(領域)の学的変遷を踏まえて、各教科や領域等の授業(教育活動)の意義、重

要性について検討できる材料を提供する。実際的な教育活動の事例等を検討し、そこに潜んでいる原理や原則を抽出し、さらに、実際の教材を解釈し、模擬授業等を行うことにより、事前に手に入れた原理・原則の確かさを検証することになる。教員として最小限必要となる資質や能力のなかで、特に教育課程に関する知識や技能(カリキュラム・マネジメント力)を身に付けられるように授業を展開する予定である。

【到達目標】

- ・中学校及び、高等学校(中等教育学校を含む)における教育課程の編成原理とその編成(カリキュラム・マネジメント)について理解することができ、実際の学校教育現場における教育課程を解釈することができる。
- ・学習指導要領の変遷及び、現行について理解することができ、学習指導要領に基づき編纂される教科用図書と授業の関係について考察し、自ら行う“指導計画作成”や“模擬授業”、教育実習における“授業”にその知識を活用することができる。
- ・中学校及び、高等学校(中等教育学校を含む)における各教科目、領域に関する指導計画作成の原則と日々行われる教育活動との関係を理解することができ、生徒の実態、発達特性、地域や保護者との関わり、関係諸機関との連携等を含めた実際的な教育課程論を自ら構築(カリキュラム・マネジメント)することができる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

教職課程履修者(前期と後期とでクラス分けがあります)。重複履修不可。

【授業の形式】

対面授業の予定。

チームを結成し、チームごとにクリティークを発表していく形式の授業である。

一種のゼミナール方式の授業と考えてよい。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	80%	20%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業授業時にフィードバックする。

学年末試験／学年末レポートについては Classroom に講評を掲載する。

【授業展開と内容-前期】

1.教育課程とは何か。指導計画とどのように異なるのか

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、テキストを読み返し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

2.各教科の歴史的展開と今日の学校教育

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、テキストを読み返し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

3.領域の歴史的展開と今日の学校教育

事前学習	テキスト読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、テキストを読み返し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

4.カリキュラムを学ぶために―教育の思想

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、テキストを読み返し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

5.教育課程の構成要素

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、テキストを読み返し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

6.日本における教育課程の歴史的展開

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、テキストを読み返し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

7.カリキュラムの現代的動向

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、テキストを読み返し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

8.教師によるカリキュラムづくり―授業の省察とデザイン

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、テキストを読み返し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

9.教師の学び、教師の省察と成長

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、テキストを読み返し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

10.教育評価の課題と可能性

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、テキストを読み返し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

11.教師と子どもたちによって作られる単元学習

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、テキストを読み返し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

12.子どもたちの多様性と学校での学びの経験

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、テキストを読み返し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

13.隠れたカリキュラム

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、テキストを読み返し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

14.まとめ:これからの時代における学校づくり

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、テキストを読み返し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

15.まとめ:これからの時代における学校づくり

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、テキストを読み返し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.教育課程とは何か。指導計画とどのように異なるのか

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、テキストを読み返し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

2.各教科の歴史的展開と今日の学校教育

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、テキストを読み返し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

3.領域の歴史的展開と今日の学校教育

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、テキストを読み返し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

4.カリキュラムを学ぶために一教育の思想

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、テキストを読み返し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

5.教育課程の構成要素

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、テキストを読み返し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

6.日本における教育課程の歴史的展開

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、テキストを読み返し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

7.カリキュラムの現代的動向

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、テキストを読み返し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

8.教師によるカリキュラムづくりー授業の省察とデザイン

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、テキストを読み返し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

9.教師の学び、教師の省察と成長

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、テキストを読み返し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

10.教育評価の課題と可能性

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、テキストを読み返し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

11.教師と子どもたちによって作られる単元学習

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、テキストを読み返し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

12.子どもたちの多様性と学校での学びの経験

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、テキストを読み返し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

13.隠れたカリキュラム

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、テキストを読み返し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

14.まとめ:これからの時代における学校づくり

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、テキストを読み返し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

15.まとめ:講義全体を省察し、学修内容を整理する。

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、テキストを読み返し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

【オフィスアワー】

電子メール(karino-kouji@pl.tohomusic.ac.jp)にて対応。

基本は、講義の前後である。どうしてもやむを得ない事情がある場合のみ、電子メールを使用すること。

【テキスト】

1.『子どもと教師のためのカリキュラム論』成文堂 金井香里、佐藤英二、岩田一正、高井良健一 2019 年 ¥2,640 978-4-7923-6116-7

【教材】

横須賀薫編『授業研究用語辞典』教育出版、『中学校学習指導要領解説・総則編』文部科学省(最新版)、『高等学校学習指導要領解説・総則編』文部科学省(最新版)

【その他】

教職課程の講義です。チームを編成し、問題解決的な学修を組織する予定です。積極的な受講を望みます。

ICT 活用による教育の方法・技術(前期),(後期)					
担当教員 狩野 浩二 講師			曜日時限		水 1 時限
実施キャンパス	仙川	単位	各 2 単位	対象年次	学部 2 年

【授業の概要】

- ・教育に関する方法や技術について、実際の授業を想定しながら考察する。特に、ICT の活用を通して、ひとりひとりの生徒にとって最も必要となる学習活動の成立とともに、協働的に学び合う学習形態の工夫に関する指導場面を具体的に考察する。
- ・教育は、社会全体形成に関わる領域である。この講義では、情報通信技術の開発と向上を含んだ社会の変化を幅広くとらえつつ、学校教育における教育活動の成立に迫る。
- ・将来教師として、学校に勤務することを想定しながら、現実的な生徒との関係を考察する。特にこれからの時代において必要となる情報モラルの指導とともに教師として ICT を活用した教育活動及び、校務分掌の実務が展開できる力を養う。

【到達目標】

- ・教師として、生徒たちの学習を組織することについての理解を深める。その際、生徒が個として最も適切な学習をすることと同時に、仲間とともに協力し合いながら集団として学ぶことの意義を理解する。
- ・学校教育における授業において、生徒の思考活動をつくることについて理解する。考えるためには、認識と表現の円環的な関係づくりが必要であることを理解し、ICT の活用を通して児童生徒の学習活動を成立させる手法を理解する。
- ・教師として教材を解釈したり、教科を横断的に学習指導する力が必要である。デジタル教材の活用、ICT 機器・システムの活用を含めて、教材と教師、生徒の関係を理解する。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

教職科目である。教育職員免許法に定める教育職員免許を取得する希望者のみが対象である。重複履修は不可である。

【授業の形式】

対面授業の予定。演習形式で実施します。

チームを作り、チームごとにテキストをクリティークする方式である。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	80%	20%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業授業時にフィードバックする。

学年末試験／学年末レポートについては Classroom に講評を掲載する。

【授業展開と内容-前期】

1.ガイダンス、教育方法論の課題ーDX と教育改革 (ICT による校務分掌の工夫と改善ー

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、学修内容を整理し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

2.授業づくりとはーGIGA スクールとこれからの授業づくりー

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、学修内容を整理し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

3.教育の方法・技術とはーチーム学校と DXー

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、学修内容を整理し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

4.子どもに求められる資質・能力と教育の方法・技術ー情報活用能力の形成ー

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、学修内容を整理し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

5.子どもの学びと授業ーICT の活用による個別最適化の実現ー

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、学修内容を整理し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

6.授業の構想・計画と教材研究ー教科・領域の架け橋ー

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、学修内容を整理し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

7.授業の展開と探究型学習ー協働的学習の成立ー

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、学修内容を整理し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

8.学習評価の意味と方法ーパフォーマンス課題の創造とルーブリックの活用ー

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、学修内容を整理し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

9.授業研究と授業づくりー授業カンファレンスにおけるデジタル機器の活用ー

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、学修内容を整理し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

10.教材づくり・教材研究と授業づくりー ICT の活用ー

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、学修内容を整理し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

11.学習指導案と授業実践ーデジタル教材の活用と指導過程の創造ー

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、学修内容を整理し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

12.ICT を活用した授業づくりーユニバーサルデザインと ICT、特別な教育ニーズに応じた授業の創造ー

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、学修内容を整理し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

13.授業づくりを通じた教師教育の可能性ー双方向通信の特性を活かすー

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、学修内容を整理し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

14.これからの時代の授業づくりーデジタルポートフォリオによる指導と評価の一体化ー

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、学修内容を整理し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

15.まとめ:講義全体を省察し、学修内容を整理するー教師の働き方改革と DX (校務分掌における ICT の活用)ー

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、学修内容を整理し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.ガイダンス、教育方法論の課題ーDX と教育改革 (ICT による校務分掌の工夫と改善ー

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、学修内容を整理し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

2.授業づくりとはーGIGA スクールとこれからの授業づくりー

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、学修内容を整理し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

3.教育の方法・技術とはーチーム学校と DXー

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、学修内容を整理し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

4.子どもに求められる資質・能力と教育の方法・技術ー情報活用能力の形成ー

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、学修内容を整理し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

5.子どもの学びと授業ーICT の活用による個別最適化の実現ー

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、学修内容を整理し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

6.授業の構想・計画と教材研究ー教科・領域の架け橋ー

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、学修内容を整理し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

7.授業の展開と探究型学習ー協働的学習の成立ー

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
------	-------------------	----	------

事後学習	講義を聴き、学修内容を整理し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分
------	-----------------------------	----	------

8.学習評価の意味と方法ーパフォーマンス課題の創造とルーブリックの活用ー

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、学修内容を整理し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

9.授業研究と授業づくりー授業カンファレンスにおけるデジタル機器の活用ー

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、学修内容を整理し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

10.教材づくり・教材研究と授業づくりー ICT の活用ー

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、学修内容を整理し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

11.学習指導案と授業実践ーデジタル教材の活用と指導過程の創造ー

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、学修内容を整理し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

12.ICT を活用した授業づくりーユニバーサルデザインと ICT、特別な教育ニーズに応じた授業の創造ー

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、学修内容を整理し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

13.授業づくりを通じた教師教育の可能性ー双方向通信の特性を活かすー

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、学修内容を整理し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

14.これからの時代の授業づくりーデジタルポートフォリオによる指導と評価の一体化ー

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、学修内容を整理し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

15.まとめ:講義全体を省察し、学修内容を整理するー教師の働き方改革と DX (校務分掌における ICT の活用)ー

事前学習	テキストを読み、疑問点を整理する。	時間	45 分
事後学習	講義を聴き、学修内容を整理し、自己の疑問点を追究する。	時間	45 分

【オフィスアワー】

電子メール (karino-kouji@pl.tohomusic.ac.jp) にて対応します。

対面授業の際は、1 限の前後に対応します。

【テキスト】

1.教育の方法・技術 新しい時代の授業づくりに向けて 狩野浩二 2019 年 ¥1,650 978-4-909124-28-9

備考:ジダイ社

【教材】

斎藤喜博『授業』国土社、横須賀薫編『授業研究用語辞典』教育出版

【その他】

教職課程の講義です。チームを編成し、問題解決的に学修します。積極的に参加して下さい。

教育と法(前期),(後期)					
担当教員 山本 剛 講師			曜日時限		火 1 時限
実施キャンパス	仙川	単位	各 2 単位	対象年次	学部 2 年

【授業の概要】

学校教育にかかる行政制度(国と地方の役割分担を含む)の体系と基本的な関連法規の内容について、理解を深める。また、21世紀型の教育行政を求めて、教育と行政の関係を多様な視点から検討することで、現在の教育の課題(学力問題、いじめ、不登校、体罰、教育委員会制度、教員の資質向上など)を考える。また、「学校教育紛争」の事例をとりあげて、学校、学校教育を法的視点から分析する。

【到達目標】

- ① 日本の学校制度と関連する基本的な法体系を理解できるようになる。
- ② それぞれの学校種がどのように運営されているのか、教育費負担、教育課程、教職員、保護者など学校教育に関連する側面に視野を広げることができるようになる。
- ③ 学校教育の全体像を理解し、学校教育における諸問題(地域連携・学校安全関連を含む)を多角的に考えられる素地を養うことができるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

教職課程履修者

日々のニュースや新聞等で教育や学校に関する報道に注意をはらっておくように。

毎回、Classroom に教育に関する資料を配布しますので、読んでください。

【授業の形式】

講義

主に講義形式であるが、プレゼンテーションやグループディスカッションを行う。また、視聴覚機器の活用して、学校教育の理解を深める。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
60%		40%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業授業時にフィードバックする。

学年末試験／学年末レポートについては Classroom に講評を掲載する。

【授業展開と内容-前期】

1.憲法の原則と教育

事前学習	教育や学校に関する新聞記事で、興味のあるものを読む。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

2.教育基本法の改正と学校教育法

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

3.教育行財政制度と法

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

4.学校教育の経費負担制度と法

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

5.就学前教育制度と法

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

6.初等・中等教育制度と法

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

7.高等教育制度と法

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
------	--------------------	----	------

事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分
------	--	----	------

8.教育課程と法

・学習指導要領の変遷

事前学習	授業内で指示した内容を予習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

9.教職員に係る制度と法

「学校教育紛争」の事例

事前学習	授業内で指示した内容を予習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

10.さまざまなリスクと対応(学校保健安全)

事前学習	授業内で指示した内容を予習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

11.食育・学校給食と法

事前学習	授業内で指示した内容を予習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

12.学校、家庭、地域住民の連携と法

事前学習	授業内で指示した内容を予習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

13.家庭教育、保護者、子どもの権利と福祉

事前学習	授業内で指示した内容を予習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

14.社会教育・生涯学習と法

事前学習	授業内で指示した内容を予習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

15.授業のまとめと今後の課題

事前学習	授業内で指示した内容を予習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.憲法の原則と教育

事前学習	教育や学校に関する新聞記事で、興味のあるものを読む。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

2.教育基本法の改正と学校教育法

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

3.教育行財政制度と法

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

4.学校教育の経費負担制度と法

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

5.就学前教育制度と法

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

6.初等・中等教育制度と法

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

7.高等教育制度と法

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

8.教育課程と法

・学習指導要領の変遷

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

9.教職員に係る制度と法

「学校教育紛争」の事例

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深める。	時間	45 分

10.さまざまなリスクと対応(学校保健安全)

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深める。	時間	45 分

11.食育・学校給食と法

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深める。	時間	45 分

12.学校、家庭、地域住民の連携と法

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深める。	時間	45 分

13.家庭教育、保護者、子どもの権利と福祉

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深める。	時間	45 分

14.社会教育・生涯学習と法

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深める。	時間	45 分

15.授業のまとめと今後の課題

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深める。	時間	45 分

【オフィスアワー】

火曜日 仙川教員室にて授業前後に時間を確保します。

【テキスト】

1.新訂 学習指導要領は国民形成の設計書 その能力観と人間像の歴史的変遷 水原克敏, 高田文子, 遠藤宏美, 八木美保子 2018 年 ¥2,200 978-4-86163-317-1 C3037

【教材】

参考書

『教育小六法 2025 年版』学陽書房

発達心理学(集中)	
曜日時限・単位・担当教員	集中講義
実施キャンパス	調布
対象年次	学部1年～

【授業の概要】

「発達心理学」は、ヒトの成長と変化の過程を観察や実験をととして理解する研究分野である。

この講義では、発達心理学に関連するいくつかの諸理論を概説しながら、人間の発達における情緒・感情、コミュニケーションの重要性について、教育的な立場から考察する。

【到達目標】

- 1 生涯発達の視点にたち、乳幼児期から成人期までの発達過程と知覚・認知的特徴について理解できるようになる。
- 2 乳幼児期から成人期までの各期における身体的側面、心理的側面からみた発達の特徴とその個人差を理解できるようになる。
- 3 発達に遅れを示す子どもやコミュニケーション上の難しさを抱える人たちの心理を行動面から分析し、個別的な支援のあり方を考えることができるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

教職課程 履修者（必修科目）

ヒトの発達と環境との関係について関心をもち、授業に参加することが望ましい。

【授業の形式】

集中講義(全8回)

1日に4コマのペースで進める。

講義を中心に進めるが、各回のテーマにそったディスカッションを行う。

授業内において、学生各自のノートパソコンやタブレット、スマートフォン等を活用しながら調べる課題を課す。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	80%	20%

【成績評価の要点②】

成績評価は、授業内の課題提出、最終課題の内容から総合的に判断して、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

授業の前後でフィードバックを行う。

Google classroom 内に課題等の解説を掲出する。

【授業展開と内容-前期】

1.オリエンテーション 授業の概要と進め方 成長と発達

事前学習	シラバスを一読する。Google classroom への登録	時間	30 分
事後学習	要点をノートにまとめる。(第4回 終了後)	時間	60 分

2.発達心理学における基礎理論

「発達」のとらえかたの変遷

発達を踏まえた学習理論

生涯発達理論(ハヴィガースト、エリクソンを中心に)

事前学習	「発達」とはどのようなことか、知っていることをノートに書き留めておく。	時間	30 分
事後学習	要点をノートにまとめる。 (第4回 終了後)	時間	60 分

3.各期の発達過程とその特徴1

乳児期の感覚・知覚、認知とコミュニケーション力

乳児期の情緒的発達における他者との関わりの重要性

幼児期の運動能力、知覚・認知、社会性の発達

幼児期における発達とあそびの重要性

事前学習	自身の乳幼児期の頃について、思い出せることをノートに書き留めておく。	時間	30 分
事後学習	要点をノートにまとめる。(第4回 終了後)	時間	60 分

4.各期の発達過程とその特徴2

学童期の知覚・認知、学習能力

対人関係の発達

学童期における同年代の人とかかわる機会の重要性

青年期の心理、対人関係の発達

青年期において多様な世代の人とかかわる機会の重要性

事前学習	自身の学童期、青年期(中高生)の頃について、思い出せることをノートに書き留めておく。	時間	30 分
事後学習	配布資料等をみながら、第1回から第4回までの授業の要点をノートにまとめる。	時間	60 分

5.各期の発達過程とその特徴3

成人前期と成人後期における身体的・心理的特徴

人間の発達とコミュニケーション力の重要性

事前学習	配布資料をみながら、ディスカッション課題について、考えをまとめておく。	時間	30 分
事後学習	要点をノートにまとめる。(第8回 終了後)	時間	60 分

6.発達のアセスメント

人間の知能を評価する方法

人間の知覚・認知機能を評価する方法

人間の社会性、コミュニケーション力を評価する方法

事前学習	配布資料をみながら、ディスカッション課題について、考えをまとめておく。	時間	30 分
事後学習	要点をノートにまとめる。(第8回 終了後)	時間	60 分

7.発達の個人差の理解1

学校教育の現場において、行動面や学習面において困難さを示す児童・生徒への支援を考える

事前学習	配布資料をみながら、ディスカッション課題について、考えをまとめておく。	時間	30 分
事後学習	要点をノートにまとめる。(第8回 終了後)	時間	60 分

8.発達の個人差の理解2

身体的要因あるいは環境的要因によって、コミュニケーションの難しさを抱える人たちの支援を考える

事前学習	配布資料をみながら、ディスカッション課題について、考えをまとめておく。	時間	30 分
事後学習	配布資料等をみながら、第5回から第8回までの授業の要点をノートにまとめる。	時間	60 分

11.

事前学習		時間	
事後学習		時間	

【オフィスアワー】

集中講義のため、授業の前後に、質問を受け付ける。

【教材】

参考図書

大川一郎・安藤智子 編著 『生涯発達心理学』 福村出版 2025

小椋たみ子・小山正・水野久美 著 『乳幼児期のことばの発達とその遅れ 保育・発達を学ぶ人のための基礎知識』 ミネル

【その他】

集中講義の授業開始まで、忘れずに Google classroom への登録をしてください。

道徳理論と指導法(集中)	
曜日時限・単位・担当教員	集中講義
実施キャンパス	調布
対象年次	学部2年～

【授業の概要】

この授業では、道徳の理論と指導法についての基礎的な知識・考え方を理解することを目的とする。受講生には、道徳についての基礎的な知識を修得することと、実際に道徳を子どもに教えるとはどういうことなのかを積極的に考えることを期待する。

【到達目標】

道徳の理論と指導法についての基礎的な知識・考え方を理解する。教育実習における指導案作成方法を修得できるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

教職課程履修者 大学1年

【授業の形式】

基本的には講義形式で行う(ただし、グループでの作業等を行うこともある)。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
35%	35%	30%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業授業時にフィードバックする。

学年末試験／学年末レポートについては Classroom に講評を掲載する。

【授業展開と内容-前期】

1.「道徳」とはなにか

1. 講義

2. 課題

事前学習	「道徳」、「倫理」、「法(律)」、「宗教」など隣接する領域に関わるそれぞれの言葉について自分の意見を考える。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

2.「道徳」を教えるとはどういうことか

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 講義

3. 課題

事前学習	前回の講義の最後に指定されたテーマについて考え、要点や疑問点をまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

3.道徳性の発達理論

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 講義

3. 課題

事前学習	前回の講義の最後に指定されたテーマについて考え、要点や疑問点をまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

4.学校教育における道徳 1(歴史)

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 講義

3. 課題

事前学習	前回の講義の最後に指定されたテーマについて考え、要点や疑問点をまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

5.学校教育における道徳 2(制度)

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 講義

3. 課題

事前学習	前回の講義の最後に指定されたテーマについて考え、要点や疑問点をまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

6. 学校教育における道徳 3(方法①)

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 講義

3. 課題

事前学習	前回の講義の最後に指定されたテーマについて考え、要点や疑問点をまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

7. 学校教育における道徳 4(方法②)

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 講義

3. 課題

事前学習	前回の講義の最後に指定されたテーマについて考え、要点や疑問点をまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

8. 学校教育における道徳 5(最近の動向)

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 講義

3. 課題

事前学習	前回の講義の最後に指定されたテーマについて考え、要点や疑問点をまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

9. 学習指導案の作成 1

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 講義

3. 課題

事前学習	前回の講義の最後に指定されたテーマについて考え、要点や疑問点をまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

10. 学習指導案の作成 2

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 講義

3. 課題

事前学習	前回の講義の最後に指定されたテーマについて考え、要点や疑問点をまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

11. 学習授業案の作成 3

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 講義

3. 課題

事前学習	前回の講義の最後に指定されたテーマについて考え、要点や疑問点をまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

12. 学習授業案の作成 4

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 講義

3. 課題

事前学習	前回の講義の最後に指定されたテーマについて考え、要点や疑問点をまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

13. 学習指導案の検討と評価

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 講義

3. 課題

事前学習	前回の講義の最後に指定されたテーマについて考え、要点や疑問点をまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

14. 今後の課題と発展的学習

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 講義

3. 課題

事前学習	前回の講義の最後に指定されたテーマについて考え、要点や疑問点をまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業内で取り組めなかった資料などに目を通す。 授業で学んだことを振り返る。	時間	45 分

15. 学習到達度の確認と授業の総括

1. 前回提出課題のフィードバック

2. 課題

事前学習	これまでの講義について振り返り、到達度の確認に対して準備する。	時間	45 分
事後学習	これまでの講義について振り返り、最終レポート(指導案)の準備をする。	時間	45 分

【オフィスアワー】

授業前・後30分程度(ただし、必ず、事前に教務などに連絡しアポイントメントを取ること)。

【教材】

特定のテキスト(教科書)は用いず、毎回レジュメと資料を配布する。参考書等は授業のなかで提示する。ただし、「中学校学習指導要領」(平成 29 年 3 月告示 文部科学省)及び「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳」(平成 29 年 7 月 文部科学省)は各自が持ってくること。

特別活動の指導法(集中)	
曜日時限・単位・担当教員	集中講義
実施キャンパス	調布
対象年次	学部 3 年

【授業の概要】

特別活動の基本的な考え方を理解し、学級活動・生徒会活動・学校行事などの指導のポイントを学ぶ。

話し合い活動の進め方や、生徒の主体性を引き出す工夫を、演習を通して体験的に身につける。

【到達目標】

中等教育機関における特別活動の授業を行ううえでの知識を身に付け、学級活動・生徒会活動・学校行事の指導を自律的に実施できるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

特になし。

【授業の形式】

講義およびグループによる演習を中心とする。

Google Classroom を通して、資料の共有・課題の掲出・出欠の確認などを行うため、各自デバイスを準備すること。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	80%	20%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

集中講義につき、フィードバックは授業内で行い、試験は実施しない。

【授業展開と内容-前期】

1. 特別活動の役割を理解する。

- ・特別活動の目標
- ・学習指導要領での位置づけ
- ・学級活動・生徒会活動・学校行事の全体像

事前学習	Google Classroom に登録する。 特別活動の学習指導要領を読み、概要を把握する。	時間	30 分
事後学習	第1～4回の講義内容を整理し、要点をまとめる(第4回終了後)。	時間	60 分

2. [学級活動] 及び [生徒会活動] の意義と教員の関わり方を理解する。

- ・各活動の目標と内容の理解
- ・各活動の内容の取扱いの理解
- ・子どもの意見を引き出す質問の仕方

- ・役割分担の偏りを防ぐ工夫

事前学習	特別活動の学習指導要領を読み、概要を把握する。	時間	30 分
事後学習	第1～4回の講義内容を整理し、要点をまとめる(第4回終了後)。	時間	60 分

3.〔学校行事〕の意義と教員の関わり方を理解する。

- ・学校行事の目標と内容の理解
- ・学校行事の内容の取扱いの理解
- ・子どもの意見を引き出す質問の仕方
- ・役割分担の偏りを防ぐ工夫

事前学習	特別活動の学習指導要領を読み、概要を把握する。	時間	30 分
事後学習	第1～4回の講義内容を整理し、要点をまとめる(第4回終了後)。	時間	60 分

4.学習指導案を自律的に作成する。

- ・学習指導案の基本構成(ねらい・内容・評価)
- ・特別活動における評価の考え方
- ・グループ分け(各6名)
- ・グループでの学習指導案の作成

事前学習	特別活動の学習指導要領を読み、概要を把握する。	時間	30 分
事後学習	第1～4回の講義内容を整理し、要点をまとめる(第4回終了後)。	時間	60 分

5.学習指導案をもとに模擬授業を行い、場面指導を体験する。

- ・各グループでの模擬授業
- ・話合いのファシリテーション
- ・トラブル場面のロールプレイ
- ・相互フィードバック

事前学習	グループごとに模擬授業の準備をする。	時間	60 分
事後学習	第5～8回の講義内容を整理し、要点をまとめる(第8回終了後)。	時間	60 分

6.学習指導案をもとに模擬授業を行い、場面指導を体験する。

- ・各グループでの模擬授業
- ・話合いのファシリテーション
- ・トラブル場面のロールプレイ
- ・相互フィードバック

事前学習	グループごとに模擬授業の準備をする。	時間	60 分
事後学習	第5～8回の講義内容を整理し、要点をまとめる(第8回終了後)。	時間	60 分

7.学習指導案をもとに模擬授業を行い、場面指導を体験する。

- ・各グループでの模擬授業
- ・話合いのファシリテーション
- ・トラブル場面のロールプレイ
- ・相互フィードバック

事前学習	グループごとに模擬授業の準備をする。	時間	60 分
事後学習	第5～8回の講義内容を整理し、要点をまとめる(第8回終了後)。	時間	60 分

8.特別活動の指導に関する自分なりの考えをもつ。

- ・2日間の学びの整理
- ・特別活動における多様性への配慮
- ・排除が起きやすい場面の例と改善案
- ・最終レポート

事前学習	特別活動を行ううえでの注意点について、自分なりの考えをもつ。	時間	15 分
事後学習	第5～8回の講義内容を整理し、要点をまとめる(第8回終了後)。 最終レポートを作成し、提出する。	時間	120 分

【オフィスアワー】

7月 29 日(水)4限後 調布キャンパス 008 室

7月 30 日(木)4限後 調布キャンパス 008 室

【テキスト】

1.中学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説 特別活動編 文部科学省編 2018 年 ¥454 9784827816099

備考:発行者:東山書房

PDF 版でも可。ただしその場合には、授業中に閲覧できるようにすること。

2.高等学校学習指導要領(平成 30 年告示)解説 特別活動編 文部科学省編 2019 年 ¥990 9784487286355

備考:発行者:東京書籍

PDF ダウンロード版でも可。ただしその場合には、授業中に閲覧できるようにすること。

【教材】

文部科学省編『中学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説 特別活動編』東山書房、2018 年。ダウンロード URL:

https://www.mext.go.jp/content/20260323-mxt_kyoiku01-100002608_13.pdf

【その他】

授業の内容は、状況によって前後することがある。

教育相談(前期),(後期)					
担当教員 杵鞭 広美 教授			曜日時限		木 2 時限
実施キャンパス 仙川	単位	各 2 単位		対象年次	学部 2 年

【授業の概要】

教育相談は、幼児児童生徒が集団生活のなかで人間関係を構築する発達過程を支援する教育活動である。

この授業では、児童生徒の個々の発達状況に応じた支援のあり方を探るため、カウンセリングマインドに基づく教育相談の理論と技法を学び、具体的な支援に必要な基礎的知識を身につけることを目的とする。

【到達目標】

- 1 学校現場における教育相談の意義と課題について理解できるようになる。
- 2 心理学に基づくカウンセリング等の理論と技法を理解できるようになる。
- 3 フィクション事例をととしてカウンセリング技法を実践的に学び、学校現場において教育相談を行う過程を理解できるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

教職課程 履修者(必修科目)

【授業の形式】

講義および演習形式である。

教育相談の意義と基本理念について理解し、その実際の専門的な援助技術の理論と方法、関係機関との連携のあり方等を学ぶ。

教育相談の実践について、フィクション事例を用いたロールプレイによって学び、具体的な支援への理解を深めていく。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	80%	20%

【成績評価の要点②】

成績評価は、主に、課題の提出状況と内容から総合的に判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

授業内でフィードバックを行う。

最終課題の解説については、Classroom に講評を掲載する。

【授業展開と内容-前期】

1.オリエンテーション

教育相談とは

事前学習	シラバスを一読し、この授業へのイメージをつかむ。	時間	30 分
事後学習	オリエンテーションにおいて、説明を受けた内容を整理し、疑問点を明らかにしておく。	時間	60 分

2.学校において教育相談を行うことの意味

「教育相談」に関わる心理学の基礎理論

事前学習	オリエンテーション時の資料等を確認し、補足の説明が必要な点を整理しておく。	時間	30 分
事後学習	配布資料とテキストをみながら、本時の要点を整理しておく。	時間	60 分

3.教育現場で相談を進める際に必要な基礎知識1

幼児期から青年期までの発達過程とその理解

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	配布資料とテキストをみながら、本時の要点を整理しておく。	時間	60 分

4.教育現場で相談を進める際に必要な基礎知識2

児童期、青年期における心理的特徴と問題行動

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	配布資料とテキストをみながら、児童期、青年期の心理的特徴と問題行動について、要点を整理しておく。	時間	60 分

5.教育現場で相談を進める際に必要な基礎知識3

教育者に求められるカウンセリングマインドの視点、心理アセスメント

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	配布資料とテキストをみながら、「心理アセスメント」について、要点を整理しておく。	時間	60 分

6.教育相談におけるカウンセリング技法1

学校教育におけるカウンセリングマインド

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	配布資料とテキストをみながら、「カウンセリングマインド」について、要点を整理しておく。	時間	60 分

7.教育相談におけるカウンセリング技法2

受容的態度、傾聴、共感的理解

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	カウンセリングに必要な技法について、本時で取り上げた要点を整理しておく。	時間	60 分

8.学校における教育相談の進め方1

学校組織の中での保護者への対応

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	授業で取り上げた、フィクション事例について、要点を整理しておく。	時間	60 分

9.学校における教育相談の進め方2

学校と地域連携のあり方

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	授業で取り上げた、フィクション事例について、要点を整理しておく。	時間	60 分

10.学校教育現場で生じる諸問題1

いじめ、不登校の事例から

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	授業で取り上げた、フィクション事例について、要点を整理しておく。	時間	60 分

11.学校教育現場で生じる諸問題2

虐待、非行の事例から

児童生徒の権利保護および安全確保の観点から

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	授業で取り上げた、フィクション事例について、要点を整理しておく。	時間	60 分

12.教育相談における事例研究の進め方(フィクション事例を用いて)

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	授業で取り上げた、フィクション事例について、要点を整理しておく。	時間	60 分

13.教育相談における校内体制の整備のあり方

学校教育現場における相談支援の意義 地域の専門機関との連携の必要性

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	授業で取り上げた、フィクション事例について、要点を整理しておく。	時間	60 分

14.教育相談における地域との連携1

特別支援学校との連携に関する具体例をととして

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	授業で取り上げた、フィクション事例について、要点を整理しておく。	時間	60 分

15.教育相談における地域との連携2

医療機関、教育・福祉施設などの専門機関との連携に関する具体例をととして

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	授業で取り上げた、フィクション事例について、要点を整理しておく。	時間	60 分

【授業展開と内容-後期】

1.オリエンテーション

教育相談とは

事前学習	シラバスを一読し、この授業へのイメージをつかむ。	時間	30 分
事後学習	オリエンテーションにおいて、説明を受けた内容を整理し、疑問点を明らかにしておく。	時間	60 分

2.学校において教育相談を行うことの意味

「教育相談」に関わる心理学の基礎理論

事前学習	オリエンテーション時の資料等を確認し、補足の説明が必要な点を整理しておく。	時間	30 分
事後学習	配布資料とテキストをみながら、本時の要点を整理しておく。	時間	60 分

3.教育現場で相談を進める際に必要な基礎知識1

幼児期から青年期までの発達過程とその理解

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	配布資料とテキストをみながら、本時の要点を整理しておく。	時間	60 分

4.教育現場で相談を進める際に必要な基礎知識2

児童期、青年期における心理的特徴と問題行動

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	配布資料とテキストをみながら、児童期、青年期の心理的特徴と問題行動について、要点を整理しておく。	時間	60 分

5.教育現場で相談を進める際に必要な基礎知識3

教育者に求められるカウンセリングマインドの視点、心理アセスメント

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	配布資料とテキストをみながら、「心理アセスメント」について、要点を整理しておく。	時間	60 分

6.教育相談におけるカウンセリング技法1

学校教育におけるカウンセリングマインド

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	配布資料とテキストをみながら、「カウンセリングマインド」について、要点を整理しておく。	時間	60 分

7.教育相談におけるカウンセリング技法2

受容的態度、傾聴、共感的理解

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	カウンセリングに必要な技法について、本時で取り上げた要点を整理しておく。	時間	60 分

8.学校における教育相談の進め方1

学校組織の中での保護者への対応

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	授業で取り上げた、フィクション事例について、要点を整理しておく。	時間	60 分

9.学校における教育相談の進め方2

学校と地域連携のあり方

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	授業で取り上げた、フィクション事例について、要点を整理しておく。	時間	60 分

10.学校教育現場で生じる諸問題1

いじめ、不登校の事例から

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	授業で取り上げた、フィクション事例について、要点を整理しておく。	時間	60 分

11.学校教育現場で生じる諸問題2

虐待、非行の事例から

児童生徒の権利保護および安全確保の観点から

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	授業で取り上げた、フィクション事例について、要点を整理しておく。	時間	60 分

12.教育相談における事例研究の進め方(フィクション事例を用いて)

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	授業で取り上げた、フィクション事例について、要点を整理しておく。	時間	60 分

13.教育相談における校内体制の整備のあり方

学校教育現場における相談支援の意義 地域の専門機関との連携の必要性

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	授業で取り上げた、フィクション事例について、要点を整理しておく。	時間	60 分

14.教育相談における地域との連携1

特別支援学校との連携に関する具体例をととして

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	授業で取り上げた、フィクション事例について、要点を整理しておく。	時間	60 分

15.教育相談における地域との連携2

医療機関、教育・福祉施設などの専門機関との連携に関する具体例をととして

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	授業で取り上げた、フィクション事例について、要点を整理しておく。	時間	60 分

【オフィスアワー】

授業終了後 仙川キャンパス 第二教員室

【テキスト】

1.教育相談(新・教職課程シリーズ) 田中智志・橋本美保監修 羽田紘一編著 2014 年 ¥2,420 978-4-86359-068-7

【その他】

授業開始時までに、Google classroom への登録をしてください。

音楽科教育法 I (前期),(後期)					
担当教員	宮本 益光 教授		曜日時限	金 1 時限	
実施キャンパス	仙川	単位	各 2 単位	対象年次	学部 2 年

【授業の概要】

講義を中心に行うが、実際の授業を想定し、生徒への話し方、伴奏の仕方、教材の活用方などについて模擬授業を通して解説する。特に授業時の発声法、歌唱法を指導する。

【到達目標】

学習指導要領に則った教育目標、音楽教材、指導方法が理解できるようになる。具体的な授業場面を想定した授業設計ができるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

教職課程履修者。声楽副科、合唱を履修していると より理解が深まる。

【授業の形式】

講義と実習。音楽鑑賞は DVD、CD の鑑賞がある。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	40%	60%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、S、A、B、C、D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業授業時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1. 中学生・高等学校における音楽教育の意義

事前学習	教育者としての心構えを考えておくこと。	時間	45 分
事後学習	学んだ内容を整理しておくこと。	時間	45 分

2. 生徒集団への対応。話し方、板書他。声楽の発声法。生徒集団への対応。騒乱状態への対応。

事前学習	集団に接する際、重要と思われる点を考察しておくこと。	時間	45 分
事後学習	学んだ内容を整理しておくこと。	時間	45 分

3. 教壇に立つこと。集団に対する個としての心構え。発声指導の方法。

事前学習	発声指導の方法について考えておくこと。	時間	45 分
事後学習	学んだ内容を整理しておくこと。	時間	45 分

4. 教科書の扱い方 1 中学生の音楽 1 「浜辺の歌」の指導について。

発声指導の実践。

事前学習	教科書「中学生の音楽 1」から「浜辺の歌」の項に目を通しておくこと。	時間	45 分
事後学習	学んだ内容を整理しておくこと。	時間	45 分

5. 教科書の扱い方 2 中学生の音楽 1 「魔王」の指導について。

発声指導の実践。

事前学習	教科書「中学生の音楽 1」から「魔王」の項に目を通しておくこと。	時間	45 分
事後学習	学んだ内容を整理しておくこと。	時間	45 分

6. 教科書の扱い方 3 高校生の音楽 1 Caro mio ben の指導について。

発声指導の実践。

事前学習	教科書「高校生の音楽 1」から Caro mio ben の項に目を通しておくこと。	時間	45 分
事後学習	学んだ内容を整理しておくこと。	時間	45 分

7. 教科書の扱い方 4 中学生の音楽 2,3 上 「翼をください」の指導について。

発声指導の実践。

合唱を指導すること、パート分けについての考察など。

事前学習	教科書「中学生の音楽 2,3 上」から「翼をください」項に目を通しておくこと。	時間	45 分
事後学習	学んだ内容を整理しておくこと。	時間	45 分

8.教科書の扱い方 5 中学生の音楽 2,3 下。指揮の指導について。

発声指導の実践。

事前学習	教科書「中学生の音楽 2,3 下」に目を通しておくこと。	時間	45 分
事後学習	指揮の稽古をしておくこと。	時間	45 分

9.教科書の扱い方 6 中学生の音楽 2,3 下 高校生の音楽 1。

音楽のある生活とは、その意義について考察する。

発声指導の実践。

事前学習	「音楽のある生活」の意義について考察しておくこと。	時間	45 分
事後学習	学んだ内容を整理しておくこと。	時間	45 分

10.教科書の扱い方 7 中学生の音楽 2,3 下 高校生の音楽 1。

発声指導のまとめ。

発声指導の実践。

事前学習	教科書「中学生の音楽 2,3 下」「高校生の音楽 1」に目を通しておくこと。	時間	45 分
事後学習	学んだ内容を整理しておくこと。	時間	45 分

11.表現力とは、そしてその指導について考察する。

発声指導の実践。

事前学習	「表現力」について考察しておくこと。	時間	45 分
事後学習	学んだ内容を整理しておくこと。	時間	45 分

12.授業を組み立ててみる。指導案にいたる前段階としての授業の考察。

発声指導の実践。

事前学習	自分が進めてみたい授業内容を構成しておくこと。	時間	45 分
事後学習	学んだ内容を整理しておくこと。	時間	45 分

13.指導案の研究。「野ばら」を題材に。学習指導要領の解説。

発声指導の実践。

事前学習	「野ばら」の譜読みをしておくこと。	時間	45 分
事後学習	学んだ内容を整理しておくこと。	時間	45 分

14.指導案を書く。

発声指導の実践。

事前学習	学習指導要綱に目を通しておくこと。	時間	45 分
事後学習	学んだ内容を整理しておくこと。	時間	45 分

15.まとめ「実習を前に」

事前学習	これまでに学んだことから、疑問点などをまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	学んだ内容を整理しておくこと。	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.中学生・高等学校における音楽教育の意義

事前学習	教育者としての心構えを考えておくこと。	時間	45 分
事後学習	学んだ内容を整理しておくこと。	時間	45 分

2.生徒集団への対応。話し方、板書他。声楽の発声法。生徒集団への対応。騒乱状態への対応。

事前学習	集団に接する際、重要と思われる点を考察しておくこと。	時間	45 分
事後学習	学んだ内容を整理しておくこと。	時間	45 分

3.教壇に立つこと。集団に対する個としての心構え。発声指導の方法。

事前学習	発声指導の方法について考えておくこと。	時間	45 分
事後学習	学んだ内容を整理しておくこと。	時間	45 分

4.教科書の扱い方 1 中学生の音楽 1 「浜辺の歌」の指導について。

発声指導の実践。

事前学習	教科書「中学生の音楽 1」から「浜辺の歌」の項に目を通しておくこと。	時間	45 分
事後学習	学んだ内容を整理しておくこと。	時間	45 分

5.教科書の扱い方 2 中学生の音楽 1 「魔王」の指導について。

発声指導の実践。

事前学習	教科書「中学生の音楽 1」から「魔王」の項に目を通しておくこと。	時間	45 分
事後学習	学んだ内容を整理しておくこと。	時間	45 分

6.教科書の扱い方 3 高校生の音楽 1 Caro mio ben の指導について。

発声指導の実践。

事前学習	教科書「高校生の音楽 1」から Caro mio ben の項に目を通しておくこと。	時間	45 分
事後学習	学んだ内容を整理しておくこと。	時間	45 分

7.教科書の扱い方 4 中学生の音楽 2,3 上 「翼をください」の指導について。

発声指導の実践。

合唱を指導すること、パート分けについての考察など。

事前学習	教科書「中学生の音楽 2,3 上」から「翼をください」項に目を通しておくこと。	時間	45 分
事後学習	学んだ内容を整理しておくこと。	時間	45 分

8.教科書の扱い方 5 中学生の音楽 2,3 下。指揮の指導について。

発声指導の実践。

事前学習	教科書「中学生の音楽 2,3 下」に目を通しておくこと。	時間	45 分
事後学習	指揮の稽古をしておくこと。	時間	45 分

9.教科書の扱い方 6 中学生の音楽 2,3 下 高校生の音楽 1。

音楽のある生活とは、その意義について考察する。

発声指導の実践。

事前学習	「音楽のある生活」の意義について考察しておくこと。	時間	45 分
事後学習	学んだ内容を整理しておくこと。	時間	45 分

10.教科書の扱い方 7 中学生の音楽 2,3 下 高校生の音楽 1。

発声指導のまとめ。

発声指導の実践。

事前学習	教科書「中学生の音楽 2,3 下」「高校生の音楽 1」に目を通しておくこと。	時間	45 分
事後学習	学んだ内容を整理しておくこと。	時間	45 分

11.表現力とは、そしてその指導について考察する。

発声指導の実践。

事前学習	「表現力」について考察しておくこと。	時間	45 分
事後学習	学んだ内容を整理しておくこと。	時間	45 分

12.授業を組み立ててみる。指導案にいたる前段階としての授業の考察。

発声指導の実践。

事前学習	自分が進めてみたい授業内容を構成しておくこと。	時間	45 分
事後学習	学んだ内容を整理しておくこと。	時間	45 分

13.指導案の研究。「野ばら」を題材に。学習指導要領の解説。

発声指導の実践。

事前学習	「野ばら」の譜読みをしておくこと。	時間	45 分
事後学習	学んだ内容を整理しておくこと。	時間	45 分

14.指導案を書く。

発声指導の実践。

事前学習	学習指導要綱に目を通しておくこと。	時間	45 分
事後学習	学んだ内容を整理しておくこと。	時間	45 分

15.まとめ「実習を前に」

事前学習	これまでに学んだことから、疑問点などをまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	学んだ内容を整理しておくこと。	時間	45 分

【オフィスアワー】

金曜日授業終了後、仙川教員室にて。

【テキスト】

1. 中学校・高等学校教科書(教育芸術社等)、自主制作資料、映像資料他

【教材】

自主制作資料、映像資料、中学校学習指導要領(最新版)、高等学校学習指導要領(最新版)他

音楽科教育法Ⅱ(前期),(後期)					
担当教員 杵鞭 広美 教授			曜日時限		水 1 時限
実施キャンパス 調布	単位	各 2 単位		対象年次	学部 3 年

【授業の概要】

中学校、高等学校教育における音楽科の授業について、学習指導要領をふまえながら、各領域(歌唱・器楽・創作・鑑賞)の内容と指導の流れをつかむ。

学習指導案の作成に取り組みながら、様々な視点から、音楽科の授業で扱う教材の分析をする。

教材の選択や授業の進め方など、音楽の授業を行ううえで求められる専門的な知識・技術を演習を通して学ぶ。

【到達目標】

- 1 学習指導要領の内容から、音楽科の目標を理解できるようになる。
- 2 音楽科の目標にそった学習指導案を作成する意義を理解できるようになる。
- 3 中学、高校生の発達の実態に考慮した教材を選択し、授業を展開するイメージをもちながら、学習指導案を構成することができる。
- 4 自身が作成した学習指導案にそって、音楽科の授業を展開できるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

教職課程 履修者(必修科目)

3年以上

【授業の形式】

講義、演習

中学校、高等学校での音楽の授業をイメージしながら、授業計画を試みる。

音楽の授業教育現場に即した「授業」の一部の演習を取り入れる。

学習指導案の作成については、個別に添削指導する機会を設ける。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	80%	20%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

授業内でフィードバックを行う。

最終課題の解説については、Classroom に講評を掲載する。

【授業展開と内容-前期】

1.オリエンテーション

学校教育における音楽科の位置づけ

事前学習	シラバスを一読し、この授業へのイメージをつかむ。	時間	30 分
事後学習	オリエンテーションにおいて、説明を受けた内容を整理し、疑問点を明らかにしておく。	時間	60 分

2.学習指導要領(音楽)の概要

新しい教育課程

学習指導要領の構成と内容

事前学習	オリエンテーション時の資料等を確認し、補足の説明が必要な点を整理しておく。	時間	30 分
事後学習	新しい教育課程、学習指導要領の概要について、要点を整理しておく。	時間	60 分

3.中学校音楽科の教科目標、目的

学習指導要領における「音楽科の目標」

音楽的な見方、考え方

事前学習	学習指導要領の「音楽」について、一読しておく。	時間	30 分
事後学習	学習指導要領にある「音楽的な見方、考え方」について、要点を整理しておく。	時間	60 分

4.音楽科教育とICT 1

新学習指導要領に示された ICT を活用した教育の目的

デジタル教科書

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	デジタル教科書を使用して授業展開できる具体例を考え、まとめる。	時間	60 分

5.音楽科教育とICT 2

ICTを活用した音楽科の授業の実践

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	ICTを活用した教育と音楽科の授業における展開例について、要点を整理しておく。	時間	60 分

6.音楽の授業構成と学習指導案の作成 1

学習指導案作成に関する基礎的事項

指導計画と評価計画

教材の選択とその指導展開

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	学習指導案を作成にあたっての基本的な事項を整理し、まとめる。	時間	60 分

7.音楽の授業構成と学習指導案の作成 2

指導計画および指導案作成上の配慮事項

指導展開例の作成と実践

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	学習指導案の作成例の資料をみながら、要点を整理しておく。	時間	60 分

8.教材研究 1

「日本の伝統音楽」の指導について

鑑賞領域の授業展開(授業観察)

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	日本の伝統音楽に関する指導例について、資料をみながら、要点を整理しておく。	時間	60 分

9.教材研究 2

授業展開におけるワークシートの作成

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	自身で授業構成をイメージしながら、ワークシートを作成する。	時間	60 分

10.教材研究 3

歌唱教材を用いた指導法

(ゲストスピーカー)

歌唱教材の選定、ディクシオン、指導案作成のポイント

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	第 10 回講義(ゲストスピーカー)の要点を整理しておく。	時間	60 分

11.教材研究 4

Sound Education を題材として

「主体的・対話的な深い学び」につなげる指導を考える

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	Sound Education に関して、要点を整理しておく。	時間	60 分

12.学習指導案作成演習と模擬授業 1

音楽の「創作活動」における教材の選択とその指導展開(授業分析)

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	授業分析をして気づいたことを、整理しておく。	時間	60 分

13.学習指導案作成の演習と模擬授業 2

「主体的・対話的な深い学び」を意識した授業展開と指導の工夫(器楽教材を用いて)

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	学習指導案作成の過程について、理解を深めておく。	時間	60 分

14.学習指導案作成の演習と模擬授業 3

「主体的・対話的な深い学び」を意識した授業展開と指導の工夫(創作教材を用いて)

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	学習指導案作成の過程について、理解を深めておく。	時間	60 分

15.学習指導案の作成

題材、教材、50 分間の授業構成を考えて、学習指導案を作成する。

事前学習	これまでの授業内容について、資料を見ながら確認しておく。	時間	70 分
事後学習	この授業を全体的に振り返る。	時間	20 分

【授業展開と内容-後期】

1.オリエンテーション

学校教育における音楽科の位置づけ

事前学習	シラバスを一読し、この授業へのイメージをつかむ。	時間	30 分
事後学習	オリエンテーションにおいて、説明を受けた内容を整理し、疑問点を明らかにしておく。	時間	60 分

2.学習指導要領(音楽)の概要

新しい教育課程

学習指導要領の構成と内容

事前学習	オリエンテーション時の資料等を確認し、補足の説明が必要な点を整理しておく。	時間	30 分
事後学習	新しい教育課程、学習指導要領の概要について、要点を整理しておく。	時間	60 分

3. 中学校音楽科の教科目標、目的

学習指導要領における「音楽科の目標」

音楽的な見方、考え方

事前学習	学習指導要領の「音楽」について、一読しておく。	時間	30 分
事後学習	学習指導要領にある「音楽的な見方、考え方」について、要点を整理しておく。	時間	60 分

4. 音楽科教育と ICT 1

新学習指導要領に示された ICT を活用した教育の目的

デジタル教科書

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	デジタル教科書を使用して授業展開できる具体例を考え、まとめる。	時間	60 分

5. 音楽科教育と ICT 2

ICT を活用した音楽科の授業の実践

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	ICT を活用した教育と音楽科の授業における展開例について、要点を整理しておく。	時間	60 分

6. 音楽の授業構成と学習指導案の作成 1

学習指導案作成に関する基礎的事項

指導計画と評価計画

教材の選択とその指導展開

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	学習指導案を作成にあたっての基本的な事項を整理し、まとめる。	時間	60 分

7. 音楽の授業構成と学習指導案の作成 2

指導計画および指導案作成上の配慮事項

指導展開例の作成と実践

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	学習指導案の作成例の資料をみながら、要点を整理しておく。	時間	60 分

8. 教材研究 1

「日本の伝統音楽」の指導について

鑑賞領域の授業展開(授業観察)

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	日本の伝統音楽に関する指導例について、資料をみながら、要点を整理しておく。	時間	60 分

9.教材研究 2

授業展開におけるワークシートの作成

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	自身で授業構成をイメージしながら、ワークシートを作成する。	時間	60 分

10.教材研究 3

歌唱教材を用いた指導法

(ゲストスピーカー)

歌唱教材の選定、ディクショ、指導案作成のポイント

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	第 10 回講義(ゲストスピーカー)の要点を整理しておく。	時間	60 分

11.教材研究 4

Sound Education を題材として

「主体的・対話的な深い学び」につなげる指導を考える

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	Sound Education に関して、要点を整理しておく。	時間	60 分

12.学習指導案作成演習と模擬授業 1

音楽の「創作活動」における教材の選択とその指導展開(授業分析)

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	授業分析をして気づいたことを、整理しておく。	時間	60 分

13.学習指導案作成の演習と模擬授業 2

「主体的・対話的な深い学び」を意識した授業展開と指導の工夫(器楽教材を用いて)

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	学習指導案作成の過程について、理解を深めておく。	時間	60 分

14.学習指導案作成の演習と模擬授業 3

「主体的・対話的な深い学び」を意識した授業展開と指導の工夫(創作教材を用いて)

事前学習	配布資料を一読しておく。	時間	30 分
事後学習	学習指導案作成の過程について、理解を深めておく。	時間	60 分

15.学習指導案の作成

題材、教材、50 分間の授業構成を考えて、学習指導案を作成する。

事前学習	これまでの授業内容について、資料を見ながら確認しておく。	時間	70 分
事後学習	この授業を全体的に振り返る。	時間	20 分

【オフィスアワー】

授業終了後 調布キャンパス 教員室

【テキスト】

1.最新 中等科音楽教育法

2017/18 年告示「中学校・高等学校学習指導要領」準拠 中等科音楽教育研究会 2020 年 ¥3,300 9784276820197

備考: 音楽之友社

【教材】

各回の授業にて、配布する(Google classroom への掲出を含む)

参考図書は、授業の中で随時紹介する。

【その他】

各回の授業内に課題を課します。

各自でインターネット検索を行うことや、Word ソフトを使用してレポート作成する作業が中心となる。

ノートパソコン、タブレット(スマートフォン)を忘れずに持参してください。

音楽科教育法Ⅲ(前期),(後期)					
担当教員	小高 臣彦 講師		曜日時限	木 1 時限	
実施キャンパス	仙川	単位	各 2 単位	対象年次	学部 3 年

【授業の概要】

教師側の目線、生徒側の目線の両方を体験しながら合唱曲を学習し、自らの合唱指導法を模索していく。

指揮法に重きを置きつつ実践を積み、現場に出てもその場に応じた多角的なアプローチができるように研鑽していく。

グループワーク形式の授業を行うことで議論する力を養い、他者の考えを取り入れ、新たな方向性を見出すと同時に、生徒を指導する上で大切なコミュニケーション能力を高める。

【到達目標】

基本的な指揮法を習得し、分かりやすく楽曲表現を伝えることができるようになる。

合唱指導を通して、学校現場で必要不可欠な「生徒を牽引していく力」をつけることができるようになる。

自らが考える楽曲の表現を、音楽指導を通して生徒へ伝えることができるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

教職課程履修者 大学3年生

【授業の形式】

講義および合唱指導演習を適宜組み合わせ実施する。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	40%	60%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目に基づき S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

毎回の授業後に、合唱指導法、指揮法等についてフィードバックを行う。

【授業展開と内容-前期】

1. ガイダンス

- ・授業の概要
- ・生徒の実態や学校の様子、授業の状況など
- ・教育とは
- ・楽譜を使用しない合唱体験(耳で音を覚える)【翼をください】
- ・合唱演習

事前学習	自らの合唱経験の中で得た知識を整理しておくこと	時間	45 分
事後学習	講義内容や、全 15 回の授業の流れを整理しておくこと。	時間	45 分

2. 音楽の授業、合唱の授業の意味

- ・なぜ学校で音楽を学ぶのか
- ・合唱教育の意義とは
- ・テクニックの修得よりも大切なもの
- ・合唱曲演習【マイ バラード】【Let's search for Tomorrow】

事前学習	小、中、高の音楽の授業を通して知識以外にどのようなことを学んだかを整理	時間	60 分
------	-------------------------------------	----	------

	しておくこと。 【マイ バラード】【Let's search for Tomorrow】の音取り、伴奏練習、楽曲分析 をしておくこと。		
事後学習	音楽を学ぶことの意味を自分の言葉で生徒に説明できるよう、まとめておくこと。また、グループワークを通して、今まで自分に無かった知識や考え方を整理しておくこと。学習した合唱指導の流れを整理しておくこと。	時間	30 分

3.合唱指導の基本

- ・姿勢、腹式呼吸、発声方法
- ・変声期について
- ・合唱授業の組み立て方
- ・日本の合唱、海外の合唱
- ・合唱曲演習【空は今】【ふるさと】(嵐)

事前学習	【空は今】【ふるさと】の音取り、伴奏練習、楽曲分析をしておくこと。	時間	60 分
事後学習	学習した合唱指導の流れを整理しておくこと。	時間	30 分

4.ピアノ活用法、伴奏法

- ・パート練習時の音取りの方法
- ・コードネームを利用した簡易伴奏方法

合唱曲演習【この地球のどこかで】【心の瞳】

事前学習	【この地球のどこかで】【心の瞳】の音取り、伴奏練習、楽曲分析をしておくこと。	時間	60 分
事後学習	指導法やコードネームに関して復習をし、整理しておくこと。	時間	30 分

5.純正律のハーモニー

- ・ア・カペラで純正律をつくる
- ・ア・カペラ楽曲の演習
- ・合唱曲演習【Amazing Grace】【ぜんぶ(ア・カペラ 4 部)】

事前学習	【Amazing Grace】【ぜんぶ(ア・カペラ 4 部)】の音取り、楽曲分析をしておくこと。	時間	60 分
事後学習	純正律について整理しておくこと。他のア・カペラ曲にも興味を持ち、楽曲を調べたりすること。	時間	30 分

6.指揮法入門①

- ・指揮法の基本
- ・叩き、平均運動、しゃくい等の練習
- ・合唱曲【マイ バラード】【変わらないもの】を用いた指揮法研究と実践

事前学習	【マイ バラード】【変わらないもの】の音取り、伴奏練習、楽曲分析をしておくこと。	時間	60 分
事後学習	指揮法の基本動作の復習と練習をすること。	時間	30 分

7.指揮法入門②

・合唱曲【時の旅人】指揮法研究と実践

楽曲表現とアナリーゼ

・合唱曲演習【春に】

事前学習	【時の旅人】【春に】の音取り、伴奏練習、楽曲分析をしておくこと。	時間	60 分
事後学習	【時の旅人】で学習した指揮法のポイントを整理しておくこと。	時間	30 分

8.楽曲表現とアナリーゼ

・楽曲のアナリーゼと歌詞の理解

・メロディーラインを美しく表現する研究

・合唱曲演習【群青】【友達友達】

事前学習	【群青】【友達友達】の音取り、伴奏練習、楽曲分析をしておくこと。	時間	60 分
事後学習	指揮法や表現方法を復習し整理しておくこと。	時間	30 分

9.NHK 全国学校音楽コンクールについて

・歴代の合唱コンクール曲

・中学の部課題曲合唱演習

全員で演習したい合唱曲の選定と決定

事前学習	N コン課題曲の音取り、伴奏練習、楽曲分析をしておくこと。	時間	60 分
事後学習	指揮法や表現方法を復習し整理しておくこと。	時間	30 分

10.合唱指導法実践(グループでの合唱演習)

・選曲

・指揮者、伴奏者、パートの決定

・楽曲練習

N コン課題曲合唱演習(全員)

新しい合唱曲【越えてゆけ】

事前学習	グループでの合唱練習で演奏したい楽曲を準備しておくこと。 N コン課題曲伴奏練習、楽曲分析をしておくこと。【越えてゆけ】の音取り、伴	時間	60 分
------	---	----	------

	奏練習、楽曲分析をしておくこと。		
事後学習	グループ練習においての課題や反省点を整理しておくこと。	時間	30 分

11.合唱指導法実践(グループでの合唱演習)

- ・楽曲練習
- ・楽曲のアナリーゼと歌詞の理解
- ・楽曲表現の工夫

N コン課題曲合唱演習(全員)

合唱演習(全員)の選曲

ポップス合唱【瑠璃色の地球】など

事前学習	グループ合唱を完成させるために練習計画を立てておくこと。 第 12 回からの合唱演習(全員)で演奏したい楽曲の候補を考えておくこと。 【瑠璃色の地球】の楽曲の音取り、伴奏練習、楽曲分析をしておくこと。	時間	60 分
事後学習	グループ練習においての課題や反省点を整理しておくこと。	時間	30 分

12.合唱指導法実践(グループでの合唱演習)

- ・楽曲練習
- ・楽曲のアナリーゼと歌詞の理解
- ・楽曲表現の工夫

N コン課題曲合唱演習(全員)

合唱演習「未定」(全員)

事前学習	グループでの合唱練習で演奏したい楽曲を準備しておくこと。 合唱演習(全員)の楽曲の音取り、伴奏練習、楽曲分析をしておくこと。	時間	60 分
事後学習	グループ練習においての課題や反省点を整理しておくこと。	時間	30 分

13.合唱指導法実践(グループでの合唱演習)

- ・楽曲練習
- ・楽曲のアナリーゼと歌詞の理解
- ・楽曲表現の工夫

N コン課題曲合唱演習(全員)

合唱演習「未定」(全員)

事前学習	グループ合唱を完成させるために練習計画を立てておくこと。	時間	60 分
事後学習	グループ練習においての課題や反省点を整理しておくこと。	時間	30 分

14.校内合唱コンクールについて(オンデマンド映像授業)

- ・選曲、クラスの曲決め
- ・授業での練習、ホームルームでの練習
- ・プログラム、パンフレット制作
- ・運営と当日の流れ

事前学習	自らの経験した校内合唱コンクール経験などを整理しておくこと。	時間	30 分
事後学習	企画から指導、運営まで多岐にわたる仕事を理解し、整理しておくこと。また、合唱コンクールを行う意義を考え、400 字程度でまとめること。	時間	60 分

15.授業内 合唱発表会

- ・授業で扱った楽曲の演奏(全員)
- ・グループでそれぞれが練習した楽曲の発表

事前学習	演奏する楽曲の練習をしておくこと。	時間	50 分
事後学習	発表会を通して互いの演奏を聴き合い、感じたこと等を整理しておくこと。また、自らの演奏を振り返り、自己評価をすること。	時間	40 分

【授業展開と内容-後期】

1.ガイダンス

- ・授業の概要
- ・生徒の実態や学校の様子、授業の状況など
- ・教育とは
- ・楽譜を使用しない合唱体験(耳で音を覚える)【翼をください】
- ・合唱演習

事前学習	自らの合唱経験の中で得た知識を整理しておくこと	時間	45 分
事後学習	講義内容や、全 15 回の授業の流れを整理しておくこと。	時間	45 分

2.音楽の授業、合唱の授業の意味

- ・なぜ学校で音楽を学ぶのか
- ・合唱教育の意義とは
- ・テクニックの修得よりも大切なもの
- ・合唱曲演習【マイ バラード】【Let's search for Tomorrow】

事前学習	小、中、高の音楽の授業を通して知識以外にどのようなことを学んだかを整理しておくこと。 【マイ バラード】【Let's search for Tomorrow】の音取り、伴奏練習、楽曲分析をしておくこと。	時間	60 分
事後学習	音楽を学ぶことの意味を自分の言葉で生徒に説明できるよう、まとめておくこ	時間	30 分

	と。また、グループワークを通して、今まで自分に無かった知識や考え方を整理しておくこと。学習した合唱指導の流れを整理しておくこと。		
--	--	--	--

3.合唱指導の基本

- ・姿勢、腹式呼吸、発声方法
- ・変声期について
- ・合唱授業の組み立て方
- ・日本の合唱、海外の合唱
- ・合唱曲演習【空は今】【ふるさと】(嵐)

事前学習	【空は今】【ふるさと】の音取り、伴奏練習、楽曲分析をしておくこと。	時間	60 分
事後学習	学習した合唱指導の流れを整理しておくこと。	時間	30 分

4.ピアノ活用法、伴奏法

- ・パート練習時の音取りの方法
- ・コードネームを利用した簡易伴奏方法

合唱曲演習【この地球のどこかで】【心の瞳】

事前学習	【この地球のどこかで】【心の瞳】の音取り、伴奏練習、楽曲分析をしておくこと。	時間	60 分
事後学習	指導法やコードネームに関して復習をし、整理しておくこと。	時間	30 分

5.純正律のハーモニー

- ・ア・カペラで純正律をつくる
- ・ア・カペラ楽曲の演習
- ・合唱曲演習【Amazing Grace】【ぜんぶ(ア・カペラ4部)】

事前学習	【Amazing Grace】【ぜんぶ】の音取り、楽曲分析をしておくこと。また、【いざたて戦人よ】のコード分析をしておくこと。	時間	60 分
事後学習	純正律について整理しておくこと。他のア・カペラ曲にも興味を持ち、楽曲を調べたりすること。	時間	30 分

6.指揮法入門①

- ・指揮法の基本
- ・叩き、平均運動、しゃくい等の練習
- ・合唱曲【マイ バラード】【変わらないもの】を用いた指揮法研究と実践

事前学習	【マイ バラード】【変わらないもの】の音取り、伴奏練習、楽曲分析をしておくこと。	時間	60 分
事後学習	指揮法の基本動作の復習と練習をすること。	時間	30 分

7.指揮法入門②

・合唱曲【時の旅人】指揮法研究と実践

楽曲表現とアナリーゼ

・合唱曲演習【春に】

事前学習	【時の旅人】【春に】の音取り、伴奏練習、楽曲分析をしておくこと。	時間	60 分
事後学習	【時の旅人】で学習した指揮法のポイントを整理しておくこと。	時間	30 分

8.楽曲表現とアナリーゼ

・楽曲のアナリーゼと歌詞の理解

・メロディーラインを美しく表現する研究

・合唱曲演習【群青】【友達の友達】

事前学習	【群青】【友達の友達】の音取り、伴奏練習、楽曲分析をしておくこと。	時間	60 分
事後学習	指揮法や表現方法を復習し整理しておくこと。	時間	30 分

9.NHK 全国学校音楽コンクールについて

・歴代の合唱コンクール曲

・中学の部課題曲合唱演習

全員で演習したい合唱曲の選定と決定

事前学習	N コン課題曲の音取り、伴奏練習、楽曲分析をしておくこと。	時間	60 分
事後学習	指揮法や表現方法を復習し整理しておくこと。	時間	30 分

10.合唱指導法実践(グループでの合唱演習)

・選曲

・指揮者、伴奏者、パートの決定

・楽曲練習

N コン課題曲合唱演習(全員)

新しい合唱曲【越えてゆけ】

事前学習	グループでの合唱練習で演奏したい楽曲を準備しておくこと。 N コン課題曲歌唱練習、伴奏練習、楽曲分析をしておくこと。	時間	60 分
事後学習	グループ練習における課題や反省点を整理しておくこと。	時間	30 分

11.合唱指導法実践(グループでの合唱演習)

・楽曲練習

・楽曲のアナリーゼと歌詞の理解

・楽曲表現の工夫

N コン課題曲合唱演習(全員)

合唱演習(全員)の選曲

ポップス合唱【瑠璃色の地球】など

事前学習	グループ合唱を完成させるために練習計画を立てておくこと。 第 12 回からの合唱演習(全員)で演奏したい楽曲の候補を考えておくこと。 【瑠璃色の地球】の楽曲の音取り、伴奏練習、楽曲分析をしておくこと。	時間	60 分
事後学習	グループ練習においての課題や反省点を整理しておくこと。	時間	30 分

12.合唱指導法実践(グループでの合唱演習)

- ・楽曲練習
- ・楽曲のアナリゼと歌詞の理解
- ・楽曲表現の工夫

N コン課題曲合唱演習(全員)

合唱演習「未定」(全員)

事前学習	グループでの合唱練習で演奏したい楽曲を準備しておくこと。 合唱演習(全員)の楽曲の音取り、伴奏練習、楽曲分析をしておくこと。	時間	60 分
事後学習	グループ練習においての課題や反省点を整理しておくこと。	時間	30 分

13.合唱指導法実践(グループでの合唱演習)

- ・楽曲練習
- ・楽曲のアナリゼと歌詞の理解
- ・楽曲表現の工夫

N コン課題曲合唱演習(全員)

合唱演習「未定」(全員)

事前学習	自らの経験した校内合唱コンクール経験などを整理しておくこと。	時間	30 分
事後学習	企画から指導、運営まで多岐にわたる仕事を理解し、整理しておくこと。また、合唱コンクールを行う意義を考え、400 字程度でまとめること。	時間	60 分

14.合唱指導法実践(グループでの合唱演習)

- ・楽曲練習
- ・楽曲のアナリゼと歌詞の理解
- ・楽曲表現の工夫
- ・合 N コン課題曲合唱演習(全員)
- ・合唱演習「未定」(全員)

事前学習	グループ合唱を完成させるために練習計画を立てておくこと。	時間	30 分
事後学習	グループ練習においての課題や反省点を整理しておくこと。	時間	60 分

15.授業内 合唱発表会

・授業で扱った楽曲の演奏(全員)

・グループでそれぞれが練習した楽曲の発表

事前学習	演奏する楽曲の練習をしておくこと。	時間	50 分
事後学習	発表会を通して互いの演奏を聴き合い、感じたこと等を整理しておくこと。また、自らの演奏を振り返り、自己評価をすること。	時間	40 分

【オフィスアワー】

合唱指導演習についての質問は、授業前後に実施教室で受け付ける。

【テキスト】

1.クラス合唱用 MY SONG 8訂版 渡瀬 昌治 2025 年 ¥870 978-4-86779-112-7

備考:教育芸術社

音楽科教育法Ⅳ(前期),(後期)					
担当教員	石坂 浩毅 講師		曜日時限	木 2 時限	
実施キャンパス	仙川	単位	各 2 単位	対象年次	学部 3 年

【授業の概要】

日本の中学校及び高等学校での音楽教育において、管楽器の利用は頻繁である。とりわけ吹奏楽は部活動として非常に盛んであり、幅広く浸透している。また今日ではオーケストラを部活動として行う学校も多い。音楽教育の非常に大切な要素の一つである音楽鑑賞においてジャンルを問わず使用される管楽器群への理解は、器楽アンサンブル、また音楽そのものへの興味、理解へとつながる。

音楽科を専門とした教職を志す者はその指導を行う準備として、管楽器の特色や演奏法を理解し、学ぶ必要がある。この授業では管楽器の成立ち、構造、演奏法、および吹奏楽を中心とした管楽器を用いた器楽アンサンブルにおける「響き(鳴り)」、「発音」、「拍子(拍)」、「音程」とは何かという学校音楽教育にかかすことのできない要素を学習し、その指導法を理解する。

【到達目標】

吹奏楽で使用される楽器についてそれぞれの特色を理解できるようになる。吹奏楽を中心とした管楽器を用いた器楽アンサンブルにおける「響き(鳴り)」、「発音」、「拍子(拍)」、「音程」とは何かという学校音楽教育にかかすことのできない要素を学習

し、その指導法を理解できるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

教職課程履修者 大学3年以上

【授業の形式】

講義

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	40%	60%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業時にフィードバックする。学期末レポートについては Classroom に講評を掲載する。

【授業展開と内容-前期】

1.学校教育における吹奏楽、管楽器指導についての基礎知識

事前学習	シラバスを読み、授業の概要、到達目標を確認すること。	時間	10 分
事後学習	取り扱ったテキストを読み直し、講義内容を理解すること。	時間	80 分

2.管楽器における「響き(鳴り)」「発音」「拍子(拍)」「音程」

事前学習	第1回講義のテキストの4ページ目を読み直し、本講義の内容を確認すること。	時間	15 分
事後学習	取り扱ったテキストを読み直し、講義内容を理解すること。	時間	75 分

3.具体例を用いた「響き(鳴り)」の指導法

事前学習	第2回講義「響き(鳴り)」の内容を確認すること。	時間	10 分
事後学習	取り扱ったテキストを読み直し、講義内容を理解すること。講義内で扱ったエクササイズを実習すること。	時間	80 分

4.具体例を用いた「発音」「拍子(拍)」の指導法

事前学習	第2回講義「発音」「拍子(拍)」の内容を確認すること。	時間	10 分
事後学習	取り扱ったテキストを読み直し、講義内容を理解すること。講義内で扱ったエクササイズを実習すること。	時間	80 分

5.具体例を用いた「音程」の指導法、フレーズイングについて

事前学習	第2回講義「音程」の内容を確認すること。	時間	10 分
事後学習	取り扱ったテキストを読み直し、講義内容を理解すること。講義内で扱ったエクササイズを実習すること。	時間	80 分

6.金管楽器の発音の仕組みと倍音について

木管楽器の発音の仕組みについて

事前学習	第2回から5回の講義のテキストを見直し、管楽器における「響き(鳴り)」「発音」「拍子(拍)」「音程」について再確認し理解すること。	時間	45分
事後学習	取り扱ったテキストを読み直し、講義内容を理解すること。	時間	45分

7.金管楽器の構造と奏法 トランペット、トロンボーンについて

事前学習	配布したテキストを読み直し、金管楽器の発音の仕組みを確認してくること。	時間	10分
事後学習	Classroomに掲載する参考動画を鑑賞し、各楽器の演奏の様子、音色を理解すること。	時間	80分

8.金管楽器の構造と奏法 ホルン、ユーフォニアム、チューバについて

事前学習	配布したテキストを読み直し、金管楽器の発音の仕組みを確認してくること。	時間	10分
事後学習	Classroomに掲載する参考動画を鑑賞し、各楽器の演奏の様子、音色を理解すること。	時間	80分

9.木管楽器の構造と奏法 リコーダー、フルートについて

事前学習	配布したテキストを読み直し、リコーダー、フルートの発音の仕組みを確認してくること。	時間	10分
事後学習	Classroomに掲載する参考動画を鑑賞し、各楽器の演奏の様子、音色を理解すること。	時間	80分

10.木管楽器の構造と奏法 オーボエ、ファゴットについて

事前学習	配布したテキストを読み直し、ダブルリード楽器の発音の仕組みを確認してくること。	時間	10分
事後学習	Classroomに掲載する参考動画を鑑賞し、各楽器の演奏の様子、音色を理解すること。	時間	80分

11.管楽器の構造と奏法 クラリネット、サクソフォンについて

事前学習	配布したテキストを読み直し、シングルリード楽器の発音の仕組みを確認してくること。	時間	10分
事後学習	Classroomに掲載する参考動画を鑑賞し、各楽器の演奏の様子、音色を理解すること。	時間	80分

12.打楽器の構造と奏法 打楽器について

学校吹奏楽におけるコントラバスについて

事前学習	Classroomに掲載する動画を鑑賞し、吹奏楽の中での打楽器の演奏の様子を確認すること。	時間	10分
事後学習	Classroomに掲載する参考動画を鑑賞し、各楽器の演奏の様子、音色を理解すること。	時間	80分

13.部活動としての吹奏楽について

事前学習	第7回から12回の講義のテキストを復習し吹奏楽で用いられる楽器を把握すること。	時間	45分
事後学習	取り扱ったテキストを読み直し、講義内容を理解すること。	時間	45分

14.吹奏楽の楽譜、楽譜の読み替えについて

事前学習	Classroom に掲載する参考動画を鑑賞すること。	時間	10 分
事後学習	取り扱った楽譜の読み替えの仕組みを理解し、歌唱を用いて練習してくること。	時間	80 分

15.吹奏楽指導、管楽器総論

事前学習	第 1 回から第5回までの講義内容を復習し、内容を確認してくること。	時間	40 分
事後学習	全 15 回の講義の内容を復習し、管楽器、吹奏楽の指導法について理解すること。	時間	50 分

【授業展開と内容-後期】

1.学校教育における吹奏楽、管楽器指導についての基礎知識

事前学習	シラバスを読み、授業の概要、到達目標を確認すること。	時間	10 分
事後学習	取り扱ったテキストを読み直し、講義内容を理解すること。	時間	80 分

2.管楽器における「響き(鳴り)」「発音」「拍子(拍)」「音程」

事前学習	第 1 回講義のテキストの 4 ページ目を読み直し、本講義の内容を確認すること。	時間	15 分
事後学習	取り扱ったテキストを読み直し、講義内容を理解すること。	時間	75 分

3.具体例を用いた「響き(鳴り)」の指導法

事前学習	第 2 回講義「響き(鳴り)」の内容を確認すること。	時間	10 分
事後学習	取り扱ったテキストを読み直し、講義内容を理解すること。講義内で扱ったエクササイズを実習すること。	時間	80 分

4.具体例を用いた「発音」「拍子(拍)」の指導法

事前学習	第 2 回講義「発音」「拍子(拍)」の内容を確認すること。	時間	10 分
事後学習	取り扱ったテキストを読み直し、講義内容を理解すること。講義内で扱ったエクササイズを実習すること。	時間	80 分

5.具体例を用いた「音程」の指導法、フレーズイングについて

事前学習	第 2 回講義「音程」の内容を確認すること。	時間	10 分
事後学習	取り扱ったテキストを読み直し、講義内容を理解すること。講義内で扱ったエクササイズを実習すること。	時間	80 分

6.金管楽器の発音の仕組みと倍音について

木管楽器の発音の仕組みについて

事前学習	第 2 回から 5 回の講義のテキストを見直し、管楽器における「響き(鳴り)」「発音」「拍子(拍)」「音程」について再確認し理解すること。	時間	45 分
事後学習	取り扱ったテキストを読み直し、講義内容を理解すること。	時間	45 分

7.金管楽器の構造と奏法 トランペット、トロンボーンについて

事前学習	配布したテキストを読み直し、金管楽器の発音の仕組みを確認してくること。	時間	10 分
------	-------------------------------------	----	------

事後学習	Classroom に掲載する参考動画を鑑賞し、各楽器の演奏の様子、音色を理解すること。	時間	80 分
------	--	----	------

8.金管楽器の構造と奏法 ホルン、ユーフォニアム、テューバについて

事前学習	配布したテキストを読み直し、金管楽器の発音の仕組みを確認してくること。	時間	10 分
事後学習	Classroom に掲載する参考動画を鑑賞し、各楽器の演奏の様子、音色を理解すること。	時間	80 分

9.木管楽器の構造と奏法 リコーダー、フルートについて

事前学習	配布したテキストを読み直し、リコーダー、フルートの発音の仕組みを確認してくること。	時間	10 分
事後学習	Classroom に掲載する参考動画を鑑賞し、各楽器の演奏の様子、音色を理解すること。	時間	80 分

10.木管楽器の構造と奏法 オーボエ、ファゴットについて

事前学習	配布したテキストを読み直し、ダブルリード楽器の発音の仕組みを確認してくること。	時間	10 分
事後学習	Classroom に掲載する参考動画を鑑賞し、各楽器の演奏の様子、音色を理解すること。	時間	80 分

11.木管楽器の構造と奏法 クラリネット、サクソフォンについて

事前学習	配布したテキストを読み直し、シングルリード楽器の発音の仕組みを確認してくること。	時間	10 分
事後学習	Classroom に掲載する参考動画を鑑賞し、各楽器の演奏の様子、音色を理解すること。	時間	80 分

12.打楽器の構造と奏法 打楽器について

学校吹奏楽におけるコントラバスについて

事前学習	Classroom に掲載する動画を鑑賞し、吹奏楽の中での打楽器の演奏の様子を確認すること。	時間	10 分
事後学習	Classroom に掲載する参考動画を鑑賞し、各楽器の演奏の様子、音色を理解すること。	時間	80 分

13.部活動としての吹奏楽について

事前学習	第 7 回から 12 回の講義のテキストを復習し吹奏楽で用いられる楽器を把握すること。	時間	45 分
事後学習	取り扱ったテキストを読み直し、講義内容を理解すること。	時間	45 分

14.吹奏楽の楽譜、楽譜の読み替えについて

事前学習	Classroom に掲載する参考動画を鑑賞すること。	時間	10 分
事後学習	取り扱った楽譜の読み替えの仕組みを理解し、歌唱を用いて練習してくること。	時間	80 分

15.吹奏楽指導、管楽器総論

事前学習	第 1 回から第5回までの講義内容を復習し、内容を確認してくる。	時間	40 分
事後学習	全 15 回の講義の内容を復習し、管楽器、吹奏楽の指導法について理解すること。	時間	50 分

【オフィスアワー】

木曜2限授業時間の前後、授業の教室。また質問はメールにて受け付ける。石坂浩毅 ishizaka.hiroki@g.tohomusic.ac.jp

【テキスト】

1.Song And Wind Arnold Jacobs

2.Woodwind Instruments and their History Anthony Baines

備考:請求記号:S02-125

【教材】

講義中に適宜資料を配布する。

生徒指導・進路指導(前期),(後期)					
担当教員	山本 剛 講師	曜日時限		水 2 時限	
実施キャンパス	調布	単位	各 2 単位	対象年次	学部 3 年

【授業の概要】

生徒指導の理論および方法と進路指導・キャリア教育の理論および方法を捉えるための枠組みを提供し、教員として効果的な対応のあり方を学ぶ。主な内容として、生徒指導に関する主な法令、生徒指導上の課題(学級崩壊、不登校、いじめ、非行など)、進路指導・キャリア教育の問題を取り上げる。また、今日的な教育課題を深く理解するために教育に関する論文、新聞記事等を読みながら議論する。

【到達目標】

- 1 学校現場で、生徒個々の特性を踏まえた生徒指導と進路指導およびキャリア教育を行うことができるようになる。
- 2 生徒を取り巻く環境要因を把握し、指導・援助していくための基礎知識と技法を習得できるようになる。
- 3 進路指導計画の立案、実施ができるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

教職課程履修者

受講生は、子どもや青年がそこに成長しつつある社会や学校について、自身の問題とかかわらせて、日本の学校教育の歴史

的展開を理解し、現代の教育について多様な観点から考察を深めてほしい。毎回、Classroom に教育に関する資料を配布しますので、読んでください。

【授業の形式】

講義

主に講義形式であるが、プレゼンテーションやグループディスカッションを行う。また、視聴覚機器の活用して、実際の学校現場を検討する。

テーマを設定して、グループ発表を行う。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
60%		40%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業授業時にフィードバックする。

学年末試験／学年末レポートについては Classroom に講評を掲載する。

【授業展開と内容-前期】

1.オリエンテーション:本講義の目的、概要、構成について

(1) 教育とはなにか？ (2) 教育課程における生徒指導の位置付け

事前学習	テキスト『生徒指導提要』第1章 生徒指導の意義と原理を読む。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

2.生徒指導の意義と原理について

(1) 生徒指導の意義と原理 (2) 生徒指導の基礎理論(人間観・発達観)

事前学習	テキスト『生徒指導提要』の指定した箇所を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

3.生徒指導の方法について

(1) 個別指導と集団指導 (2) 観察法、質問紙法、面接法

事前学習	授業内で指示した『生徒指導提要』の内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

4.生徒指導をめぐる諸問題①

(1) 校内暴力・非行等の問題行動 (2) いじめ、不登校、インターネット・携帯電話にかかわる課題

事前学習	授業内で指示した『生徒指導提要』の内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深める。	時間	45 分

5.生徒指導をめぐる諸問題②

(1) 命の教育と自殺防止 (2) 児童虐待への対応

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、「命の授業」に関するレポートを作成する。	時間	45 分

6.生徒理解の基本と具体的な生徒指導の進め方

(1) 青年期の発達と発達障害の理解 (2) 教員・学校・家庭の課題

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深める。	時間	45 分

7.生徒指導体制と教員の役割

(1) 学校組織・関係諸機関との連携 (2) 懲戒・体罰・校則等

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深める。	時間	45 分

8.進路指導・キャリア教育の意義について

(1) 教育課程における進路指導・キャリア教育の位置付け (2) 進路指導・キャリア教育の歴史

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深める。	時間	45 分

9.進路指導・キャリア教育の方法

(1) 観察法、質問紙法、面接法 (2) 個別指導と集団指導

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深める。	時間	45 分

10.進路指導の課題

(1) 若年の労働と生活 (2) 退学問題

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深める。	時間	45 分

11.進路指導とその現状

(1) フリータ・ニートの問題 (2) 非正規雇用の問題

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深める。	時間	45 分

12.キャリア教育と進路指導の課題

(1) キャリア・カウンセリング (2) キャリア・デザイン (3) 政府の人材育成施策

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業内で行った「キャリア・デザインシート」を作成する。	時間	45 分

13.キャリア教育の実例－事例と考察－

(1) 職場体験活動とインターンシップ (2) 中学校と高等学校におけるキャリア教育実践

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深める。	時間	45 分

14.生涯学習

(1) 社会の課題と生涯学習 (2) リカレント教育論

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深める。	時間	45 分

15.授業のまとめと今後の課題

(1) 第4次産業革命と未来の教育

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深める。	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.オリエンテーション:本講義の目的、概要、構成について

(1) 教育とはなにか? (2) 教育課程における生徒指導の位置付け

事前学習	テキスト『生徒指導提要』第1章 生徒指導の意義と原理を読む。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深める。	時間	45 分

2.生徒指導の意義と原理について

(1) 生徒指導の意義と原理 (2) 生徒指導の基礎理論(人間観・発達観)

事前学習	テキスト『生徒指導提要』の指定した箇所を事前に読み、要点や疑問点をまと	時間	45 分
------	-------------------------------------	----	------

	めておくこと。		
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

3.生徒指導の方法について

(1) 個別指導と集団指導 (2) 観察法、質問紙法、面接法

事前学習	授業内で指示した『生徒指導提要』の内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

4.生徒指導をめぐる諸問題①

(1) 校内暴力・非行等の問題行動 (2) いじめ、不登校、インターネット・携帯電話にかかわる課題

事前学習	授業内で指示した『生徒指導提要』の内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

5.生徒指導をめぐる諸問題②

(1) 命の教育と自殺防止 (2) 児童虐待への対応

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、「命の授業」に関するレポートを作成する。	時間	45 分

6.生徒理解の基本と具体的な生徒指導の進め方

(1) 青年期の発達と発達障害の理解 (2) 教員・学校・家庭の課題

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

7.生徒指導体制と教員の役割

(1) 学校組織・関係諸機関との連携 (2) 懲戒・体罰・校則等

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

8.進路指導・キャリア教育の意義について

(1) 教育課程における進路指導・キャリア教育の位置付け (2) 進路指導・キャリア教育の歴史

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

9.進路指導・キャリア教育の方法

(1) 観察法、質問紙法、面接法 (2) 個別指導と集団指導

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

10.進路指導の課題

(1) 若年の労働と生活 (2) 退学問題

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

11.進路指導とその現状

(1) フリータ・ニートの問題 (2) 非正規雇用の問題

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

12.キャリア教育と進路指導の課題

(1) キャリア・カウンセリング (2) キャリア・デザイン (3) 政府の人材育成施策

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業内で行った「キャリア・デザインシート」を作成する。	時間	45 分

13.キャリア教育の実例―事例と考察―

(1) 職場体験活動とインターンシップ (2) 中学校と高等学校におけるキャリア教育実践

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

14.生涯学習

(1) 社会の課題と生涯学習 (2) リカレント教育論

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

15.授業のまとめと今後の課題

(1) 第4次産業革命と未来の教育

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

【オフィスアワー】

水曜日 調布教員室にて授業前後に時間を確保します。

【テキスト】

1.『生徒指導提要』文部科学省 2022 年

【教材】

『生徒指導・進路指導の理論と実際』河村茂雄編著、図書文化社、2011年

『新訂 キャリア教育入門：その理論と実践のために』三村隆男著、実業之日本社、2008年

特別支援教育(集中)	
曜日時限・単位・担当教員	集中講義 1 単位・ 担当:杵鞭広美教授
実施キャンパス	調布
対象年次	学部 1 年～

【授業の概要】

特別支援教育の対象となる児童生徒の発達支援について、教育学・心理学的視点から理解することを目的とする。

乳幼児期から青年期における発達支援の現状と特別支援教育において実践されている指導法の成果を知り、特別支援教育に関する専門性の理解を深める。

学校内における教員間の連携、学校の地域内の関連する機関との連携の重要性について理解を深めることを目指す。

【到達目標】

- 1 インクルーシブ教育の理念および特別支援教育の制度について理解できるようになる。
- 2 特別支援教育の対象となる児童生徒のコミュニケーションの様相とその心理について理解できるようになる。
- 3 特別支援教育の対象となる児童生徒の日常生活での行動の意味を知り、具体的な援助につなげる方法について考えることができるようになる。
- 4 特別支援教育の対象となる子どもたちの現状を理解し、環境を整備しながら適切な支援を行うことの重要性について考えることができるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

教職課程 履修者（必修科目）

特別支援教育の現状について、メディア等を通じて教育全般の時事的な問題に関心をもち、授業に参加することが望ましい。

【授業の形式】

集中講義(全8回)

1日に4コマのペースで進める。

講義を中心に進めるが、テーマに関連するディスカッションも行う。

授業内において、学生各自のノートパソコンやタブレット、スマートフォン等を活用して調べる課題を課す。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	80%	20%

【成績評価の要点②】

成績評価は、授業内の課題提出、最終課題の内容から総合的に判断して、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

授業の前後でフィードバックを行う。

Google classroom 内に課題等の解説を掲出する。

【授業展開と内容-前期】

1.オリエンテーション

授業概要と進め方

特別支援教育とは

事前学習	シラバスを一読する。 Google classroom への登録	時間	30 分
事後学習	要点をノートにまとめる。 (第4回 終了後)	時間	60 分

2.特別支援教育の概要 1

学校教育制度と特別支援教育の歴史的変遷

特別支援教育の教育課程

インクルーシブ教育

事前学習	学校教育制度に関する資料を一読する。 「インクルーシブ教育」について調べる。	時間	30 分
事後学習	要点をノートにまとめる。 (第4回 終了後)	時間	60 分

3.特別支援教育の概要 2

特別支援学級、「通級による指導」

特別支援教育コーディネーターの役割

事前学習	「特別支援教育コーディネーター」について、事前に調べておく。	時間	30 分
事後学習	要点をノートにまとめる。 (第4回 終了後)	時間	60 分

4.特別支援教育の対象となる子どものアセスメントの実際

行動観察におけるアセスメント

社会適応、コミュニケーションに関するアセスメント

事前学習	「発達に関するアセスメント」に関する資料を一読する	時間	30 分
事後学習	配布資料等をみながら、第1回から4回までの授業の要点をノートにまとめる。	時間	60 分

5.特別支援教育における支援の実際 1

視覚障害、聴覚障害児への支援

視覚支援学校、聴覚支援学校における教育

事前学習	配布資料をみながら、ディスカッション課題について、考えをまとめておく。	時間	30 分
事後学習	要点をノートにまとめる。 (第8回 終了後)	時間	60 分

6.特別支援教育における支援の実際 2

知的障害児への支援

学習障害児への支援(読み書き、算数に関する個別指導)

事前学習	配布資料をみながら、ディスカッション課題について、考えをまとめておく。	時間	30 分
事後学習	要点をノートにまとめる。 (第8回 終了後)	時間	60 分

7.特別支援教育における支援の実際 3

コミュニケーション(ことば)の問題から生じる教育的ニーズ

貧困の問題から生じる教育的ニーズ

事前学習	配布資料をみながら、ディスカッション課題について、考えをまとめておく。	時間	30 分
事後学習	要点をノートにまとめる。 (第8回 終了後)	時間	60 分

8.特別支援教育における支援の実際 4

学校と地域との連携

個別の教育支援計画

事前学習	配布資料をみながら、ディスカッション課題について、考えをまとめておく。	時間	30 分
事後学習	配布資料等をみながら、第5回から第8回までの授業の要点をノートにまとめる。	時間	60 分

【オフィスアワー】

集中講義のため、授業の前後にて、質問を受け付けます。

【教材】

参考図書

藤野博・濱田豊彦 監修『新版 特別支援教育のための障害理解 令和の日本型特別支援教育の推進のために』金子書房 2026

涌井恵 編著『特別支援教育とアクティブ・ラーニング: 一人ひとりの違いを活かす通常学級での教え方・学び方』金子書房 2023

氏森英亜・宮崎眞 編著『一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育入門-発達支援の基本と実際-』川島書店 2006

【その他】

集中講義の授業開始まで、忘れずに Google classroom への登録をしてください。

総合的な学習の時間の指導法(集中)	
曜日時限・単位・担当教員	集中講義 1 単位・ 担当: 風見章講師
実施キャンパス	調布
対象年次	学部 3 年

【授業の概要】

1. 総合的な学習の時間の目標や年間指導計画作成の考え方、単元計画の作成等について、グループで検討しながら理解を深めていく。
2. グループごとに単元計画を作成し、主体的・対話的で深い学びが実現できる探求的な学習の指導と評価の在り方を身に付けるようにする。

【到達目標】

当該科目の目標及び内容

- (1) 総合的な学習の時間の意義や各学校において目標を定める際の考え方を理解することができるようになる。
- (2) 総合的な学習の時間の指導計画作成の考え方を理解し、その実現のために必要な基礎的な能力を身に付けることができるようになる。

(3) 総合的な学習の時間の指導と評価の考え方および実践上の留意点を理解することができるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

特になし

【授業の形式】

講義を中心として知識理解を深め、レポート課題を作成する。その後グループワークを行い、相互学習の成果を発表し合う。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
60%	20%	20%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目に基づき S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業時にフィードバックする。

学年末試験／学年末レポートについては Classroom に講評を掲載する。

【授業展開と内容-前期】

1.ガイダンス(本講座の学習目標や講義内容、進め方、評価について9

事前学習	テキスト(学習指導要領解説「総合的な学習の時間」編の確認を行っておくこと。	時間	30 分
事後学習	ガイダンスを受け、授業参加姿勢を考え、個人の学習目標を設定すること。	時間	60 分

2.総合的な学習の時間の意義や、目標、内容の概要、考え方を理解する。

事前学習	テキスト(学習指導要領解説「総合的な学習の時間」編を読み、内容を簡単にまとめておくこと。	時間	30 分
事後学習	各自が中高時代に経験した「総合的な学習の時間」「探究的な学習の時間」を振り返り、その目的や学習活動を再確認すること。	時間	60 分

3.各学校において「総合的な学習の時間」の目標を設定する際に留意点、配慮点について理解を深める。

事前学習	テキスト(学習指導要領解説「総合的な学習の時間」編から学習目標設定上の留意点を確認しておくこと。	時間	30 分
事後学習	様々な学校の「総合的な学習の時間」の目標を知り、理解を深めること。	時間	60 分

4.「総合的な学習の時間」と各教科等との関連を図った年間指導計画例から具体的な指導事例を学ぶ。

事前学習	教科横断的な観点から、「総合的な学習の時間」とかかわる教科を考え、その関連内容を確認しておくこと。	時間	30 分
事後学習	教科横断的な授業を展開する上で、各教科のとの連携内容を考察しておくこと。	時間	60 分

5.各教科との関連を図った「総合的な学習の時間」の年間指導計画作成上の考え方、配慮事項などを理解する。

事前学習	「総合的な学習の時間」の年間指導計画を作成するにあたり、考えられる配慮事項を確認しておくこと。	時間	30 分
事後学習	学んだ事例から、各自が教科横断的な年間指導計画の略案を考えておくこと。	時間	60 分

6.「主体的・対話的で深い学び」を実現するための「総合的な学習の時間」の単元計画を学ぶ。

事前学習	具体的な「主体的・対話的で深い学び」とはどのような学びか、を各自の実技専攻における学びから考えること。	時間	30 分
事後学習	「主体的・対話的で深い学び」の基本を再確認する。その上で、効果的な学びを得られる「総合的な学習の時間」の単元計画を作成すること。	時間	60 分

7.「総合的な学習の時間」における単元指導計画作成の考え方や配慮事項を理解する。

事前学習	「総合的な学習の時間」における単元指導計画作成上の配慮事項をテキストから再確認しておくこと。	時間	30 分
事後学習	学校行事である「修学旅行」を想定した単元計画を作成すること。	時間	60 分

8.主体的・対話的で深い学びを実現する「課題発見・課題解決」に向けた学習過程を検討する。最終のまとめと試験

事前学習	最終的なまとめとして、毎回の授業内容を整理しておくこと。	時間	30 分
事後学習	「総合的な学習の時間」の目的を確認し。主体的な学習のありかたを最終確認すること。	時間	60 分

【オフィスアワー】

集中講義実施日、授業前後。調布校舎授業会場。

【テキスト】

1.中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編（平成 29 年 文部科学省）

文部科学省 2018 年 ¥209

教育実習	
曜日時限・単位・担当教員	教育実習+事前・事後指導 ・3 単位(2 週間実習),5 単位(3 週間実習) ・担当:杵鞭広美教授,宮本益光准教授
実施キャンパス	仙川
対象年次	学部 4 年

【授業の概要】

教育実習は、これまでの教職科目等において修得した事柄を踏まえた教育現場での実践である。

中学校または高等学校での授業、生徒指導、学級運営などの実習体験をととして、学校教師の職務内容と役割を理解する。

事前指導を受講した後、各自の実習校にて、3週間(2週間)の教育実習を行う。実習後は、課題を共有し教育者として目指すべき事項と役割を考察する。

【到達目標】

実習生として、授業者・指導者の立場を体験し、人に「教える」ことの難しさや魅力を知ることができる。

実習生として、学級担任の立場を体験し、生徒とのコミュニケーションを深めることができる。

学校教師の授業外での職務内容についても理解することができる。

教育現場(中学校、高等学校)での実習を体験しながら、これからの学校教師に求められている資質・能力とはどのようなものであるのかを見出すことができる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

教職課程履修者 (必修科目)大学4年以上

教職課程における一定科目の履修が修了している者

教育実習校が決定している(決定見込み)の者

【授業の形式】

- 1 事前指導 実習前の心構えや事前準備に関する講義
- 2 実習(2週間～3週間)
- 3 事後指導 実習終了後のフィードバック

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	100%	

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目に基づき S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

- 1 事前指導、事後指導の授業内において、フィードバックを行う。
- 2 各自、実習校において、フィードバックを行う。

【授業展開と内容-前期】

1.オリエンテーション

教育実習への準備

事前学習	教育実習生調査書・誓約書の作成、修正	時間	20 分
------	--------------------	----	------

事後学習	配付資料を、再度読み直して、内容を確認しておく。	時間	70 分
------	--------------------------	----	------

2.教育実習の準備

事前指導① 教育実習の目的、実習前後のスケジュール管理、評価について

事前学習	前回の配布資料を再度、一読しておく。	時間	20 分
事後学習	授業内に指示した内容を確認し、ノートにまとめ直しておく。	時間	70 分

3.教育実習の準備

事前指導② 実習手帳(日誌)の記述、学習指導案の作成、指導教材等の準備

事前学習	前回の配布資料を再度、一読しておく。 必要な教材、資料を準備しておく。	時間	20 分
事後学習	授業内に指示した内容を確認し、ノートにまとめ直しておく。	時間	70 分

4.教育実習の準備

事前指導③ 実習校訪問時のマナー、実習校での教職員・生徒とのかかわり方

事前学習	前回の配布資料を再度、一読しておく。	時間	20 分
事後学習	授業内に指示した内容を確認し、ノートにまとめ直しておく。	時間	70 分

5.教育実習

3週間(2週間)

事前学習	実習校でのオリエンテーションに参加する。	時間	40 分
事後学習	実習校において、実習内容のフィードバックを行う。	時間	50 分

6.教育実習の振り返り

事後指導① 実習体験についてのディスカッション(他の学生と実習体験を共有し、各自のフィードバックを行う)

事前学習	教育実習手帳やノートを見直して、実習中の体験を振り返る。	時間	20 分
事後学習	教育実習手帳やノートを見直して、実習中の体験を振り返る。	時間	70 分

7.教育実習の振り返り

事後指導② 実習体験に関するレポートの作成とアンケートの提出

事前学習	教育実習手帳やノートを見直して、実習中の体験を振り返る。	時間	20 分
事後学習	実習校への御礼状を書く。	時間	70 分

【オフィスアワー】

仙川キャンパス S 館 2階 第二教員室(杵鞭)

仙川キャンパス S 館 1階 教員室 (宮本)

原則として、事前に担当教員と連絡をとり、日時を相談してください。

連絡方法は、初回の事前指導の授業時に通知します。

【教材】

Google classroom 内に資料等を掲出する。

中学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説、高等学校学習指導要領(平成 30 年告示)解説

音楽の教科書(教育芸術社、ほか)

【その他】

- 1 教育実習の履修には、4月から行う事前・事後指導の授業にすべて出席し、実習終了後に課題を提出することが必須となります。
- 2 実習校からの評価が得られない場合、履修(単位修得)は認められません。
- 3 Classroom を通じて連絡等を行うので、必ず登録してください。

介護実習	
曜日時限・単位・担当教員	介護体験(7 日間)+事前・事後学習・2 単位・ 担当:杵鞭広美教授
実施キャンパス	仙川
対象年次	学部 2～3 年

【授業の概要】

中学校教諭免許状取得にあたっては、「介護等体験」を行うことが必須である。

事前指導を受講後に、特別支援学校で2日間、社会福祉施設で5日間、計7日間の「介護等体験」を行う。

【到達目標】

社会的なハンディキャップを抱える人たちへの理解を深めることができる。

学校教師として、多様なニーズをもつ児童生徒への理解を深めることができる。

介護実習をとおして、日本の将来を支えるべく社会人としての自覚をもつことができる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

教職課程履修者(中学校教諭免許状取得希望者のみ)

【授業の形式】

講義、演習

- 1 事前指導(計3回実施)
- 2 特別支援学校での実習(2日間)
- 3 社会福祉施設での実習(5日間)
- 4 事後指導(お礼状の作成、介護等体験ノートのまとめ等)

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	100%	

【成績評価の要点②】

- ① 事前・事後指導の受講
- ② 社会福祉施設(5日間)・特別支援学校(2日間)での体験
- ③ 「介護等体験の記録ノート」、「学校体験学習レポート」、「自己評価表」等の提出

上記3つの過程をすべて終了したうえで、「認定」とする。

期限内に書類等の提出が完了しない場合は、失格となる。

【課題に対するフィードバックの方法】

事後指導において、各自の体験に関するフィードバックを行う。

【授業展開と内容-前期】

1.オリエンテーション

介護実習にむけて 事前指導 ①

介護実習を行うにあたっての心構え

(服装、マナー ほか)

事前学習	テキストのプロローグを一読しておく。	時間	20 分
事後学習	テキストを一読しておく(授業内で指示する)。	時間	70 分

2.介護実習にむけて 事前指導 ②

「特別支援学校」での一日について

「社会福祉施設」での一日について

事前学習	テキストを一読しておく(授業内で指示する)。	時間	45 分
事後学習	テキストを一読しておく(授業内で指示する)。	時間	45 分

3.介護等体験 特別支援学校 1日目

(ガイダンス含む)

事前学習	特別支援学校の一日の生活の流れを確認する。 体験時に必要な持参物の確認をする。	時間	40 分
事後学習	一日を振り返り、体験記録ノートに、その成果をまとめる。	時間	50 分

4.介護等体験 特別支援学校 2日目

事前学習	特別支援学校の児童生徒への支援の流れを確認する。 体験時に必要な持参物の確認をする。	時間	40 分
事後学習	一日を振り返り、体験記録ノートに、その成果をまとめる。	時間	50 分

5.介護等体験 社会福祉施設 1日目

(ガイダンス含む)

事前学習	社会福祉施設の一日の生活の流れを確認する。 体験時に必要な持参物の確認をする。	時間	40 分
事後学習	一日を振り返り、体験記録ノートに、その成果をまとめる。	時間	50 分

6.介護等体験 社会福祉施設 2日目

事前学習	社会福祉施設の利用者の様子、ニーズを確認する。 体験時に必要な持参物の確認をする。	時間	40 分
事後学習	一日を振り返り、体験記録ノートに、その成果をまとめる。	時間	50 分

7.介護等体験 社会福祉施設 3日目

事前学習	社会福祉施設で働く人々の多様な職種について確認する。	時間	40 分
事後学習	一日を振り返り、体験記録ノートに、その成果をまとめる。	時間	50 分

8.介護等体験 社会福祉施設 4日目

事前学習	社会福祉施設の各職員の職務内容を確認・理解する。	時間	40 分
事後学習	一日を振り返り、体験記録ノートに、その成果をまとめる。	時間	50 分

9.介護等体験 社会福祉施設 5日目

事前学習	社会福祉施設と地域のつながり、地域における役割について確認する。	時間	40 分
事後学習	一日を振り返り、体験記録ノートに、その成果をまとめる。	時間	50 分

10.事後指導 ① 体験の振り返り

特別支援学校での体験

社会福祉施設での体験

事前学習	これまでの体験を振り返り、体験記録ノートに、その成果をまとめる。	時間	20 分
事後学習	これまでの体験を振り返り、体験記録ノートに、その成果をまとめる。	時間	70 分

11.事後指導 ② 体験先へのお礼状の作成

事前学習	体験先への御礼状を書く準備をする。 学び得られたことを箇条書きにしておく。	時間	20 分
事後学習	体験先へのお礼状を書いて、ポスト投函をする。	時間	70 分

【オフィスアワー】

質問や相談がある場合、事前に担当教員と連絡をとり、日時を調整してください。

連絡方法は、初回の授業時に通知する。

【教材】

下記の教材を使用し、事前学習、事後学習を行う。

授業開始時に下記の2つのテキストおよび介護等体験の記録ノートを配布する。

- 1 教師をめざす人の介護等体験ハンドブック 五訂版 大修館書店 2020
- 2 特別支援学校における介護等体験ガイドブック:新フィリア ジアース教育新社 2025

【その他】

Google classroom に登録し、ポータルサイトの掲示を定期的に確認して、適宜、大学事務局の指示にしたがうようにする。

体験の時期は、年間をとおして一斉ではないため、個別に対応する必要がある。

大学事務局および実習担当者からのメールや電話を確実に受信できるように登録・設定し、迅速に返答できるようにする。

教職実践演習(中・高)a～d(後期)					
担当教員	杵鞭 広美 教授 風見 章 特任講師	曜日時限	水 1 時限		
			水 2 時限		
			水 3 時限		
実施キャンパス	調布	単位	各 2 単位	対象年次	学部 4 年

【授業の概要】

この科目は、教職課程の全学年を通じた「学びの軌跡の集大成」として位置づけられる。

- 1 各自で教育的な話題からテーマを設定してプレゼンテーション(研究発表)を行い、それに関して学生間でディスカッションを行う。
- 2 将来、学校教師になるうえで、自らの課題を見出すことと、現時点において不足していると思われる知識や技能等を補うことを目指す。
- 3 社会人としての基本的事項(適切なことばづかい、マナー等)を確認しながら、教職の専門知識と技術を幅広く展開する。

【到達目標】

- 1 教育に関連するテーマを自ら設定し、研究発表(プレゼンテーション)を行うことができる。
- 2 研究発表の内容について学生間での意見交換を行い、教育実践における気づきと改善点を見出すことができる。

3 社会状況と教育における現在の課題を知り、その問題解決にむけたヴィジョンを見出すことができる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

教職履修者(必修科目) 4年以上

教育実習を終了した学生、教育実習を予定している学生

教育現場における現状と課題を考えることができる

【授業の形式】

講義、プレゼンテーション、ディスカッションを行う。

学生による研究発表(実演、ディスカッションも含む)を中心に進めていく。

研究発表にむけて、各自、配布資料(レジュメ)を作成し、コンピュータ、タブレット等の機器を使用しながら、プレゼンテーションを行う。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	80%	20%

【成績評価の要点②】

成績評価は、研究発表および授業内での取り組みを総合的に判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

授業時にフィードバックを行う。

課題の内容によっては、次回の授業時にフィードバックを行う。

【授業展開と内容-後期】

1.オリエンテーション

授業の進め方(スケジュール、形態)に関する説明

各クラスにて、研究発表スケジュールの確認・決定

事前学習	シラバスを一読する。	時間	45 分
事後学習	オリエンテーションの内容をまとめ、疑問点がないかを確認する。	時間	45 分

2.研究発表テーマの設定にむけて

各自で資料検索、レジュメ作成を行う

事前学習	教育に関連した研究テーマを設定するための資料を収集する。	時間	60 分
事後学習	研究テーマを設定し、プレゼンテーションするための構想を行う。	時間	30 分

3.学生による研究発表1

事前学習	プレゼンテーションの準備を行う。	時間	40 分
------	------------------	----	------

事後学習	他の学生の発表内容を振り返り、自ら気づいた点を書き留めておく。	時間	50 分
------	---------------------------------	----	------

4.学生による研究発表2

事前学習	プレゼンテーションの準備を行う。	時間	40 分
事後学習	他の学生の発表内容を振り返り、自ら気づいた点を書き留めておく。	時間	50 分

5.学生による研究発表3

事前学習	プレゼンテーションの準備を行う。	時間	40 分
事後学習	他の学生の発表内容を振り返り、自ら気づいた点を書き留めておく。	時間	50 分

6.学生による研究発表4

事前学習	プレゼンテーションの準備を行う。	時間	40 分
事後学習	他の学生の発表内容を振り返り、自ら気づいた点を書き留めておく。	時間	50 分

7.学生による研究発表5

事前学習	プレゼンテーションの準備を行う。	時間	40 分
事後学習	他の学生の発表内容を振り返り、自ら気づいた点を書き留めておく。	時間	50 分

8.学生による研究発表6

事前学習	プレゼンテーションの準備を行う。	時間	40 分
事後学習	他の学生の発表内容を振り返り、自ら気づいた点を書き留めておく。	時間	50 分

9.学生による研究発表7

事前学習	プレゼンテーションの準備を行う。	時間	40 分
事後学習	他の学生の発表内容を振り返り、自ら気づいた点を書き留めておく。	時間	50 分

10.学生による研究発表8

事前学習	プレゼンテーションの準備を行う。	時間	40 分
事後学習	他の学生の発表内容を振り返り、自ら気づいた点を書き留めておく。	時間	50 分

11.学生による研究発表9

事前学習	プレゼンテーションの準備を行う。	時間	40 分
事後学習	他の学生の発表内容を振り返り、自ら気づいた点を書き留めておく。	時間	50 分

12.学生による研究発表 10

事前学習	プレゼンテーションの準備を行う。	時間	40 分
事後学習	他の学生の発表内容を振り返り、自ら気づいた点を書き留めておく。	時間	50 分

13.学生による研究発表 11

事前学習	プレゼンテーションの準備を行う。	時間	40 分
事後学習	他の学生の発表内容を振り返り、自ら気づいた点を書き留めておく。	時間	50 分

14.学校教師としての心構え(講話)

事前学習	教育に関する時事的な問題について、新聞やインターネットの記事をチェックしておく。	時間	30 分
事後学習	講話の内容を振り返り、レポートを作成する。	時間	60 分

15.これまでの内容の振り返り

教育実習のフィードバックも含む

事前学習	これまでの授業内容を振り返り、レポートを作成する。	時間	70 分
事後学習	これまでの学習内容を振り返る。	時間	20 分

【オフィスアワー】

授業終了後、調布キャンパス教員室にて質問等を受け付けます。

その他、必要に応じてメールにて対応します。

【教材】

授業内で、資料等を配布します。

【その他】

Google classroom を使用します。

授業開始まえに、classroom への登録をお願いします。

各自で、コンピュータやタブレット、スマートフォンを持参して授業に参加してください。